

便器洗浄ユニット施工説明書

ウォシュレット専用（密結便器右ハンドル用）

重要

施工タイプ **10** 種類から必ず 1 つ選択してください。

- 「施工の流れ」（2 ページ）を必ずご確認ください。

機種によって、便器洗浄ユニットのプラグ接続口の位置が異なります。

- 施工手順 4:「ウォシュレットと便器洗浄ユニットを 配線・接続する」を必ずご確認ください。

便器洗浄モードの設定を必ず行ってください。

- 施工手順 5:「便器洗浄モードを設定する」を必ずご確認ください。



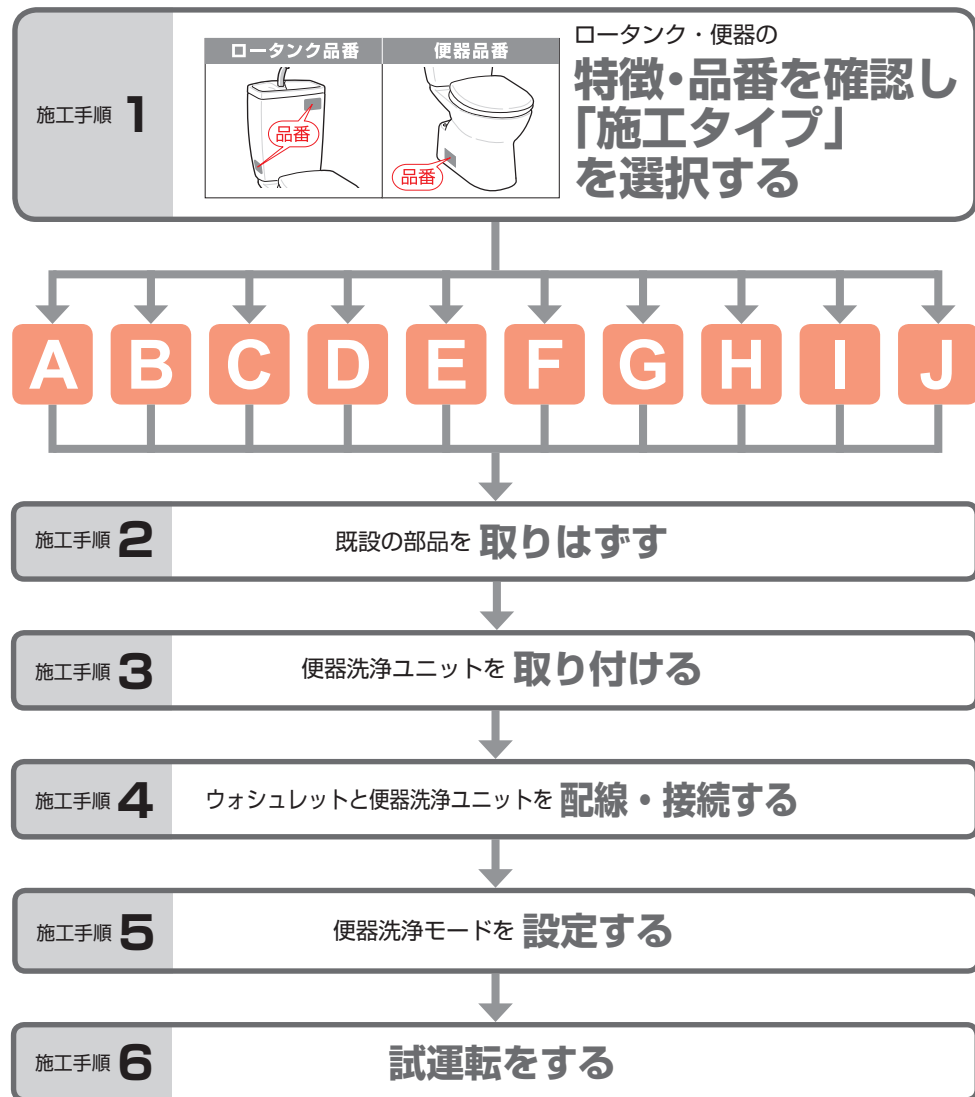
ウォシュレットとの
組み合わせ設定が必要です。

※組み合わせ設定については、便器洗浄リモコン
取付説明書をご確認ください。

- 設定しないと便器洗浄できません。

施工の流れ

ロータンクによって、施工タイプは10種類に分かれます。
施工タイプに合った施工方法と部品で、正しく施工してください。



施工手順 1 「施工タイプ」を選択する

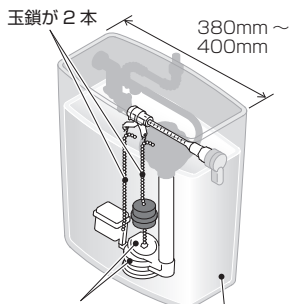

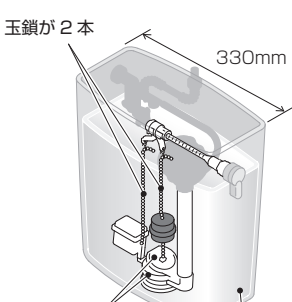

ロータンク・便器一覧表

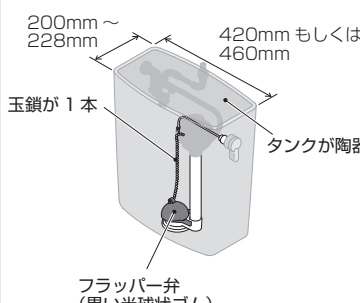

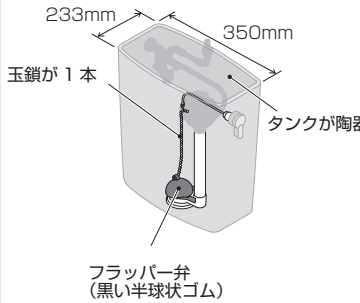
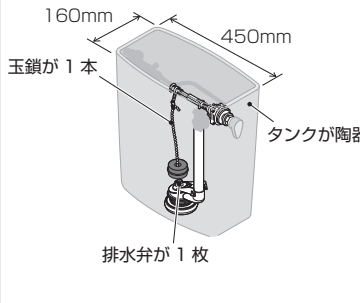

ロータンクの特徴	ロータンク品番	便器品番	施工タイプ
<p>カバーが2枚 445mm 内部タンクがプラスチック</p>	SH50B系 SH51B系 SH60B系 SH61B系 SH110B系 SH111B系 SH112B系 SH113B系 SH260B系 SH261B系 SS50B系 SS51B系 SS60B系 SS61B系 SS110B系 SS111B系 SS112B系 SS113B系 SS260B系 SS261B系	CS50系 CS60系 CS100系 CS110系 CS200系 CS205系 CS260系	A (P.6へ)
<p>カバーが1枚 330~400mm 内部タンクがプラスチック</p>	SH30B系 SH31B系 SH32B系 SH33B系 SH80B系 SH81B系 SH90B系 SH91B系 SH92B系 SH93B系 SH370BA系 SH371BA系 SH380BA系 SH381BA系 SH680B系 SH681B系 SS370BA系 SS371BA系 SS380BA系 SS381BA系	CS20系 CS22系 CS30系 CS80系 CS81系 CS82系 CS90系 CS370系 CS380系 CS680系	
	SH560B系 SH561B系 SH564B系 SH565B系 SH670B系 SH671B系	CS560系 CS565系 CS670系	C (P.6へ)

残りは次ページへ

施工手順 **1「施工タイプ」を選択する** (つづき)

ロータンク・便器一覧表

ロータンクの特徴	ロータンク品番	便器品番	施工タイプ
 <p>玉鎖が2本 380mm～400mm 排水弁が2枚 (大小親子弁) タンクが陶器</p>	S790B系 S791B系	C780系 C781系 C790系 C791系	 (P.7へ)
	SS30B系 SS31B系 SS32B系 SS33B系 SS80B系 SS81B系 SS90B系 SS91B系 SS92B系 SS93B系 SS280B系 SS281B系 SS370BF系 SS370BN系 SS371BF系 SS371BN系 SS380BF系 SS380BN系 SS381BF系 SS381BN系 SS680B系 SS681B系	CS20系 CS22系 CS30系 CS80系 CS81系 CS82系 CS90系 CS280系 CS370系 CS380系 CS680系	
 <p>玉鎖が2本 330mm 排水弁が2枚 (大小親子弁) タンクが陶器</p>	S770B系 S771B系	C270系 C770系 C771系 CS430系 CS670系	 (P.7へ)
	SS270B系 SS271B系 SS430B系 SS431B系 SS670B系 SS671B系 SS770B系 SS771B系		

ロータンクの特徴	ロータンク品番	便器品番	施工タイプ
 <p>200mm～228mm 420mmもしくは460mm 玉鎖が1本 タンクが陶器 フラッパー弁 (黒い半球状ゴム)</p>	S516 (B系) S517 (B系) S518 (B系) S546系 S710BN S721BN	C418系 C419系 C420 C710系 C720系 C721系	 (P.7へ)
 <p>233mm 350mm 玉鎖が1本 タンクが陶器 フラッパー弁 (黒い半球状ゴム)</p>	S730 (B系) S731 (B系)	C730系	
 <p>160mm 450mm 玉鎖が1本 タンクが陶器 排水弁が1枚</p>	SS590B系 SS591B系	CS590B系	 (P.7へ)
	SS594B系 SS595B系	CS595系	

施工手順 2 既設の部品を取りはずす

施工タイプ **A・B・C** のとき

1 止水栓を閉めて、ロータンク内の水を抜く

2 部品を取りはずす (下記参照)

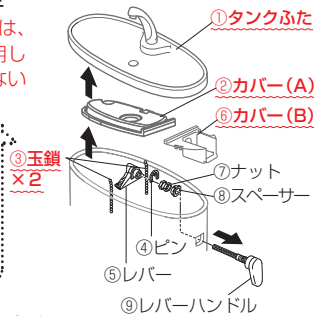
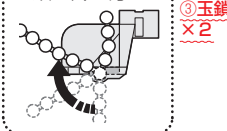
【ご注意】

機種によって、ロータンクと部品の形状が異なります。

■ Aタイプ のとき

●①～③の部品は、取り付け時に使用しますので、捨てないでください。

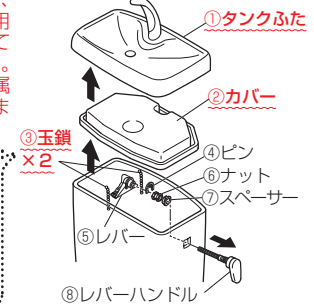
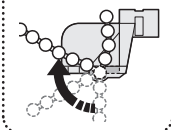
玉鎖の外し方



■ B・Cタイプ のとき

●①～③の部品は、取り付け時に使用しますので、捨てないでください。③は、玉鎖が金属の場合は使用しません。

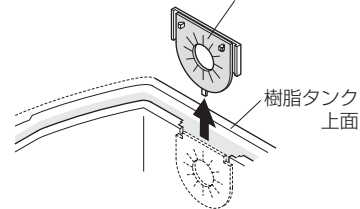
玉鎖の外し方



3 既設のスリットカバーを取りはずす

(B・Cタイプのときのみ)

既設のスリットカバー

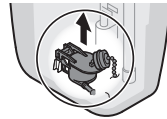


玉鎖が金属のときは…

新しいものに取り替えてください。

(B・Cタイプのときのみ)

① 排水弁をははずす

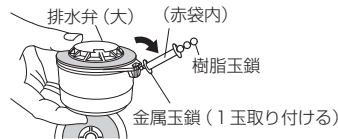


② 小用玉鎖をははずす

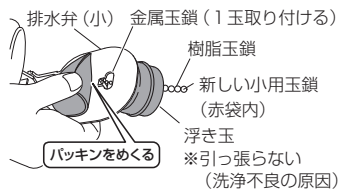


③ 大用玉鎖を取り替える

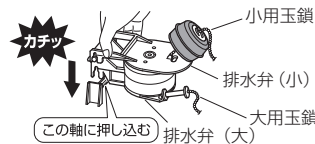
新しい大用玉鎖 (赤袋内)



④ 新しい小用玉鎖を取り付ける



⑤ 排水弁を取り付ける



便器洗浄ユニットを 施工タイプ A は P.8 へ
B は P.12 へ
C は P.16 へ
取り付け

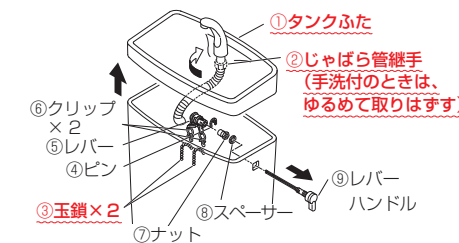
施工タイプ **D・E・F** のとき

1 止水栓を閉めて、ロータンク内の水を抜く

2 部品を取りはずす (下記参照)

【ご注意】機種によって、ロータンクと部品の形状が異なります。

●①～③の部品は、取り付け時に使用しますので、捨てないでください。



便器洗浄ユニットを 施工タイプ D は P.20 へ
E は P.24 へ
F は P.28 へ
取り付け

施工タイプ **G・H・I・J** のとき

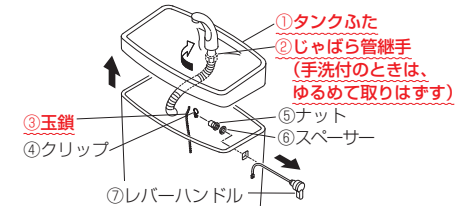
1 止水栓を閉めて、ロータンク内の水を抜く

2 部品を取りはずす (下記参照)

【ご注意】機種によって、ロータンクと部品の形状が異なります。

■ G・H・Iタイプ のとき

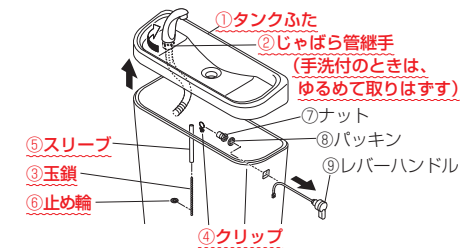
●①～③の部品は、取り付け時に使用しますので、捨てないでください。



■ Jタイプ のとき

●①～⑥の部品は、取り付け時に使用しますので、捨てないでください。

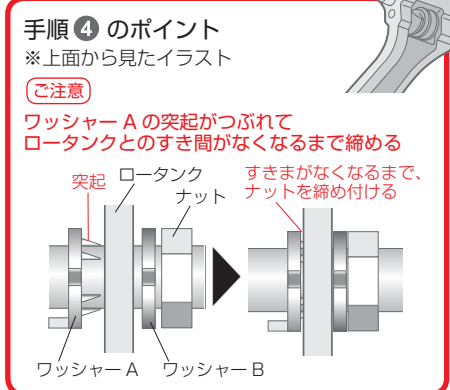
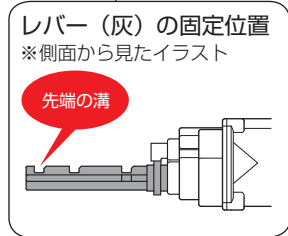
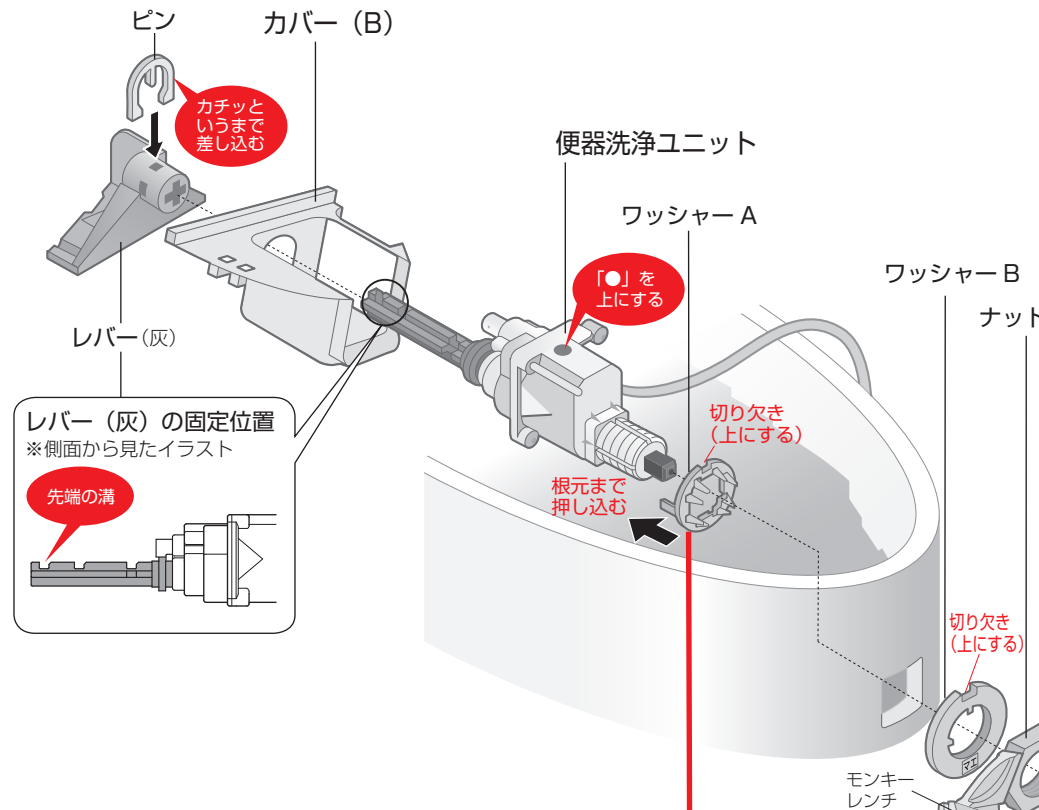
※⑤、⑥の部品が既設されていない場合があります。(その場合、P.47の⑩の「スリーブと止め輪を取り付ける」の手順が不要です。)



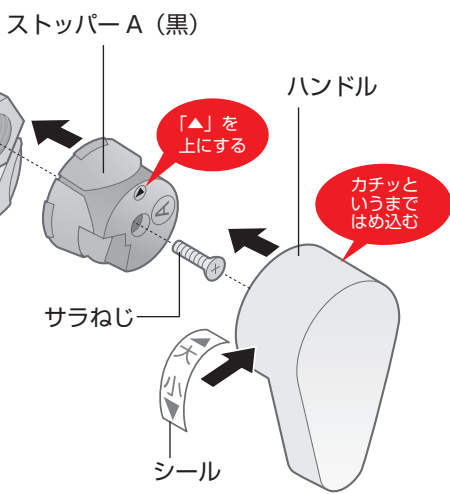
便器洗浄ユニットを 施工タイプ G は P.32 へ
H は P.36 へ
I は P.40 へ
J は P.44 へ
取り付け

1 部品を選択する

使用部品	
ワッシャーA	ワッシャーB
ナット	ピン
ハンドル	シール
サラねじ (ストッパー用φ3×10)	ストッパーA(黒)
サンドペーパー	コードフック(7個)
使用しない部品 クリップ (2個) リモコン用シール リモコンによって、どちらかのシールが同梱されています。	
レバー (灰)	スリットカバー (黒)
大用玉鎖	小用玉鎖
使用しません	

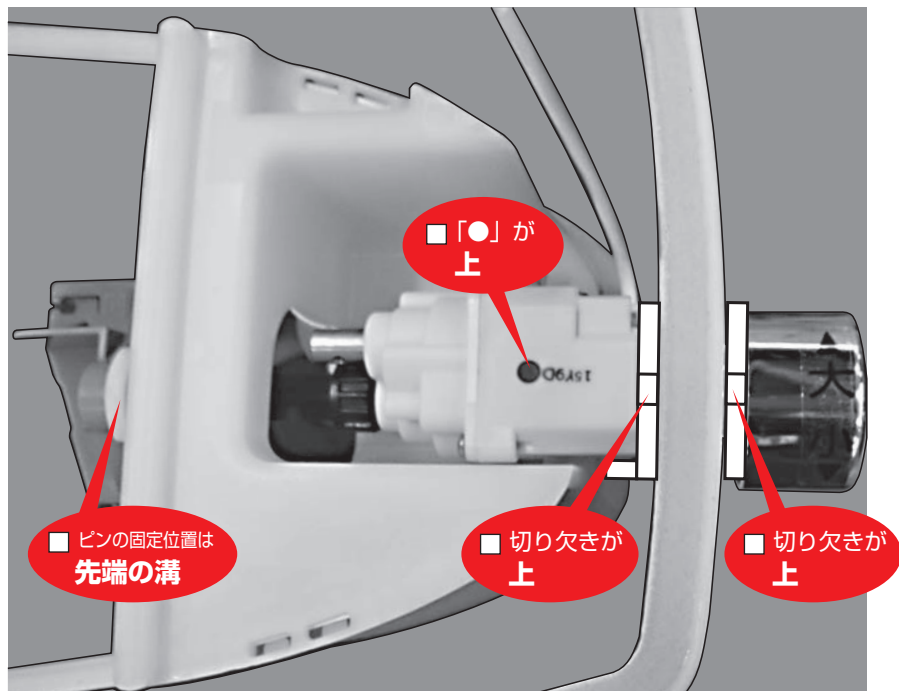


- 2** ワッシャー A をはめ込む
- 3** 便器洗浄ユニットをロータンクに差し込む
- 4** ワッシャー B をはめ、ナットをモンキーレンチで締め付ける
- 5** カバー (B) とレバー (灰) をはめ、ピンで固定する
- 6** ストッパー A (黒) をサラねじで固定し、ハンドルを取り付け、シールを貼り付ける



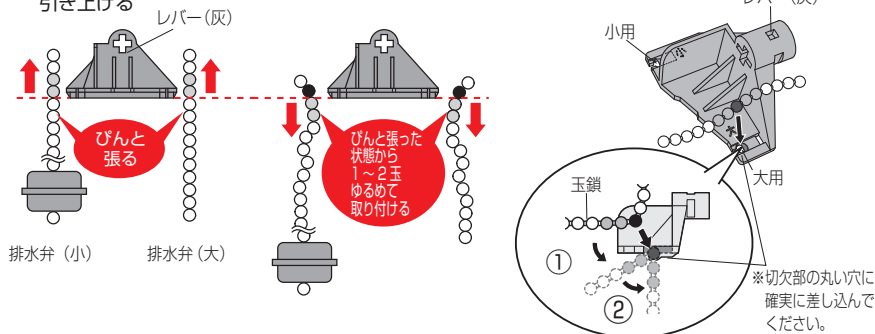
7 便器洗浄ユニットの取り付け状態を確認する

・下記チェック項目を確認し、□にチェックを行ってください。



8 玉鎖を取り付ける

- ① 排水弁が上がらない程度に玉鎖をびんと張るまで引き上げる
- ② びんと張った状態から1~2玉ゆるませる
- ③ 玉鎖を挿入する



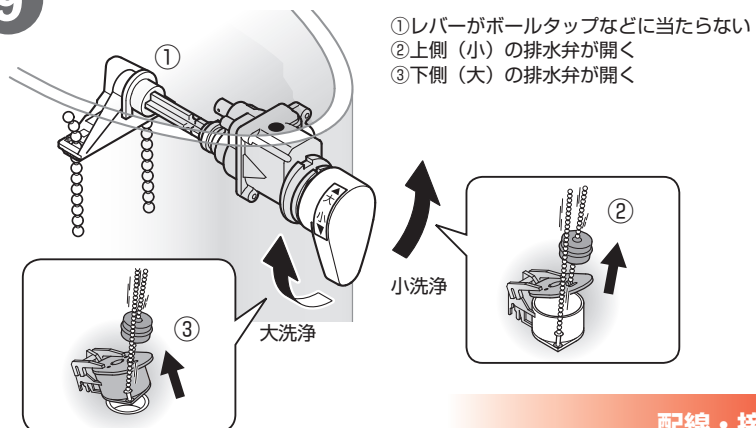
ご注意
玉鎖を取り付けた際に、下記に注意してください。

たるみすぎ **X** 張りすぎ **X**

ハンドルを回しても弁が開かず洗浄しない

弁が開いていて止水しない

9 ハンドルを動かして確認する



1 部品を選択する

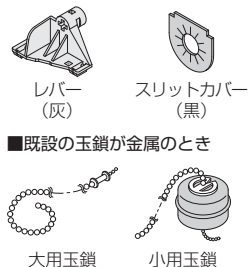
使用部品



使用しない部品

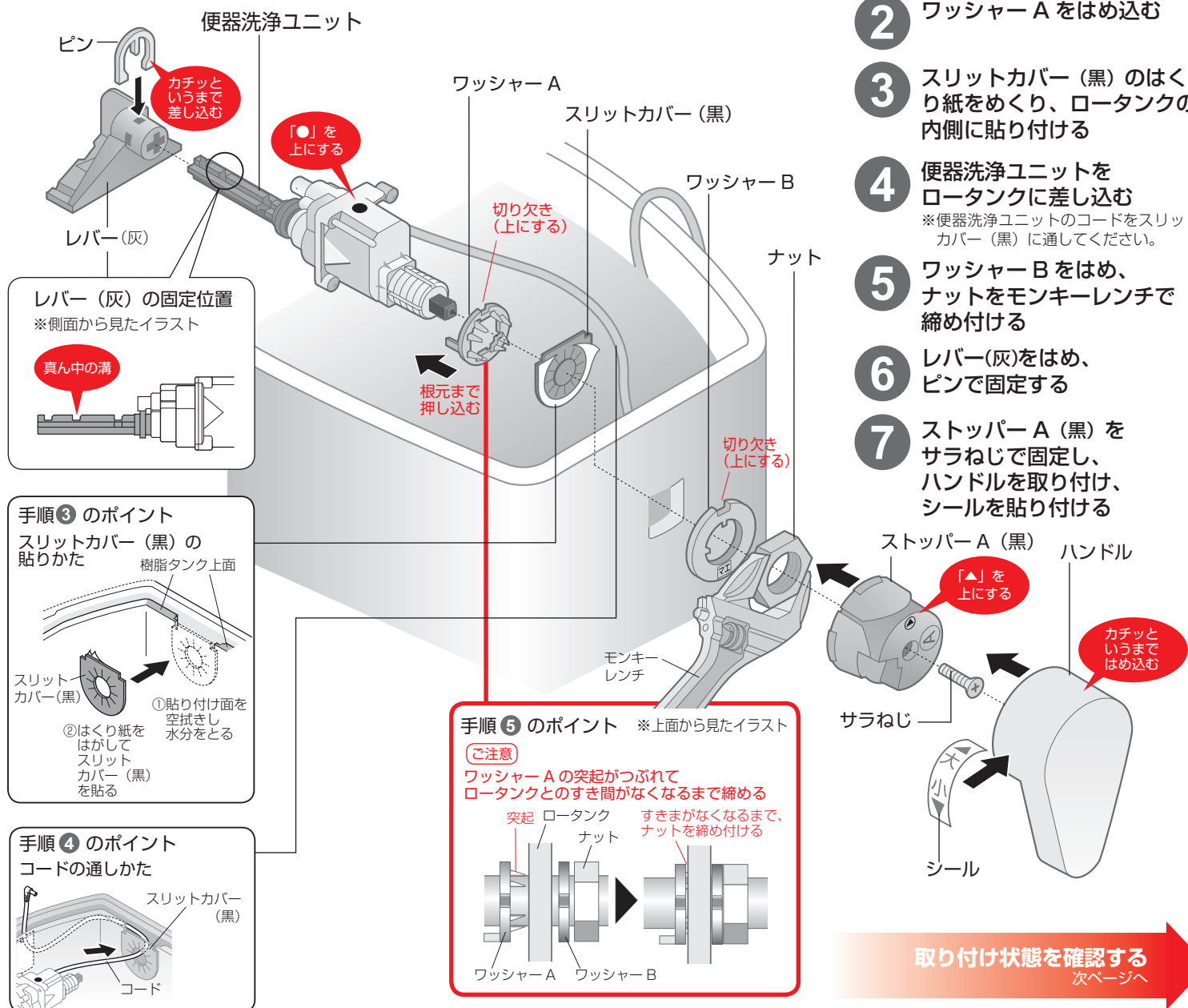


赤色袋



緑色袋

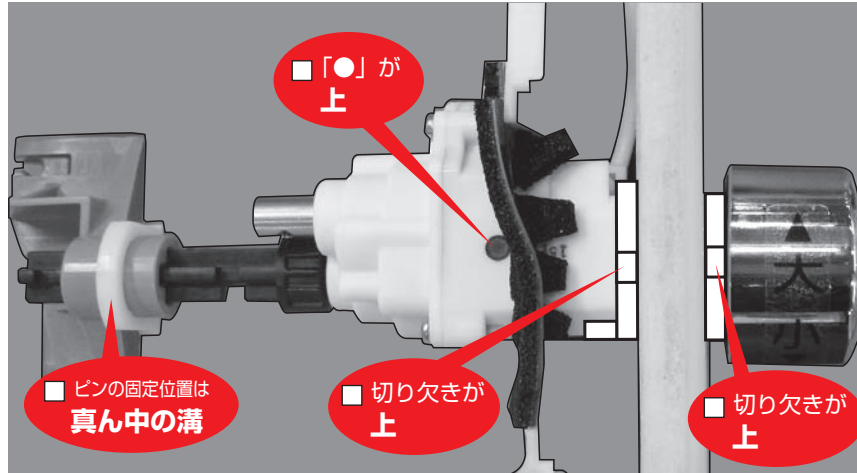
使用しません



- 2** ワッシャー A をはめ込む
- 3** スリットカバー (黒) のはくり紙をめくり、ロータンクの内側に貼り付ける
- 4** 便器洗浄ユニットをロータンクに差し込む
※便器洗浄ユニットのコードをスリットカバー (黒) に通してください。
- 5** ワッシャー B をはめ、ナットをモンキーレンチで締め付ける
- 6** レバー (灰) をはめ、ピンで固定する
- 7** ストッパー A (黒) をサラねじで固定し、ハンドルを取り付け、シールを貼り付ける

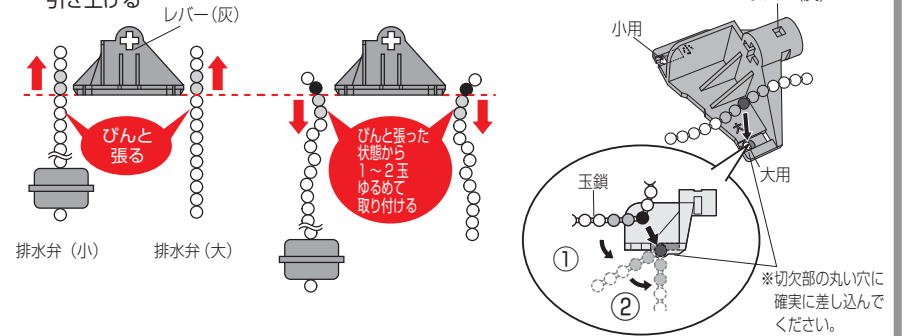
8 便器洗浄ユニットの取り付け状態を確認する

下記チェック項目を確認し、□にチェックを行ってください。



9 玉鎖を取り付ける

- ① 排水弁が上がらない程度に玉鎖をびんと張るまで引き上げる
- ② びんと張った状態から1~2玉ゆるませる
- ③ 玉鎖を挿入する



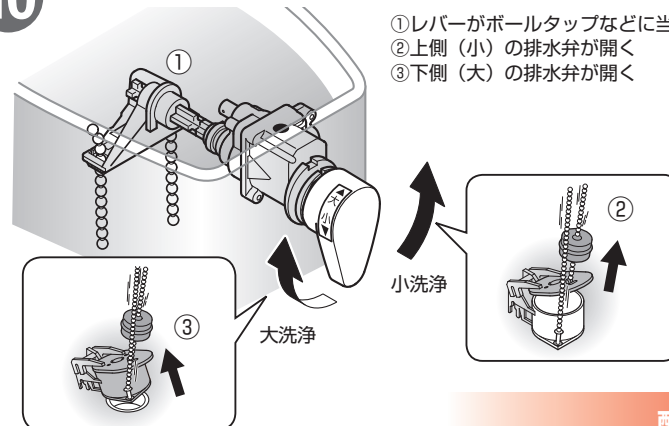
ご注意

玉鎖を取り付けた際に、下記に注意してください。



10 ハンドルを動かして確認する

- ① レバーがボールタップなどに当たらない
- ② 上側(小)の排水弁が開く
- ③ 下側(大)の排水弁が開く



1 部品を選択する

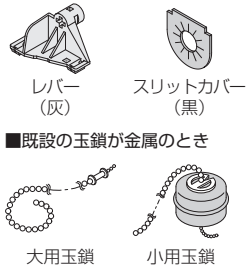
使用部品



使用しない部品

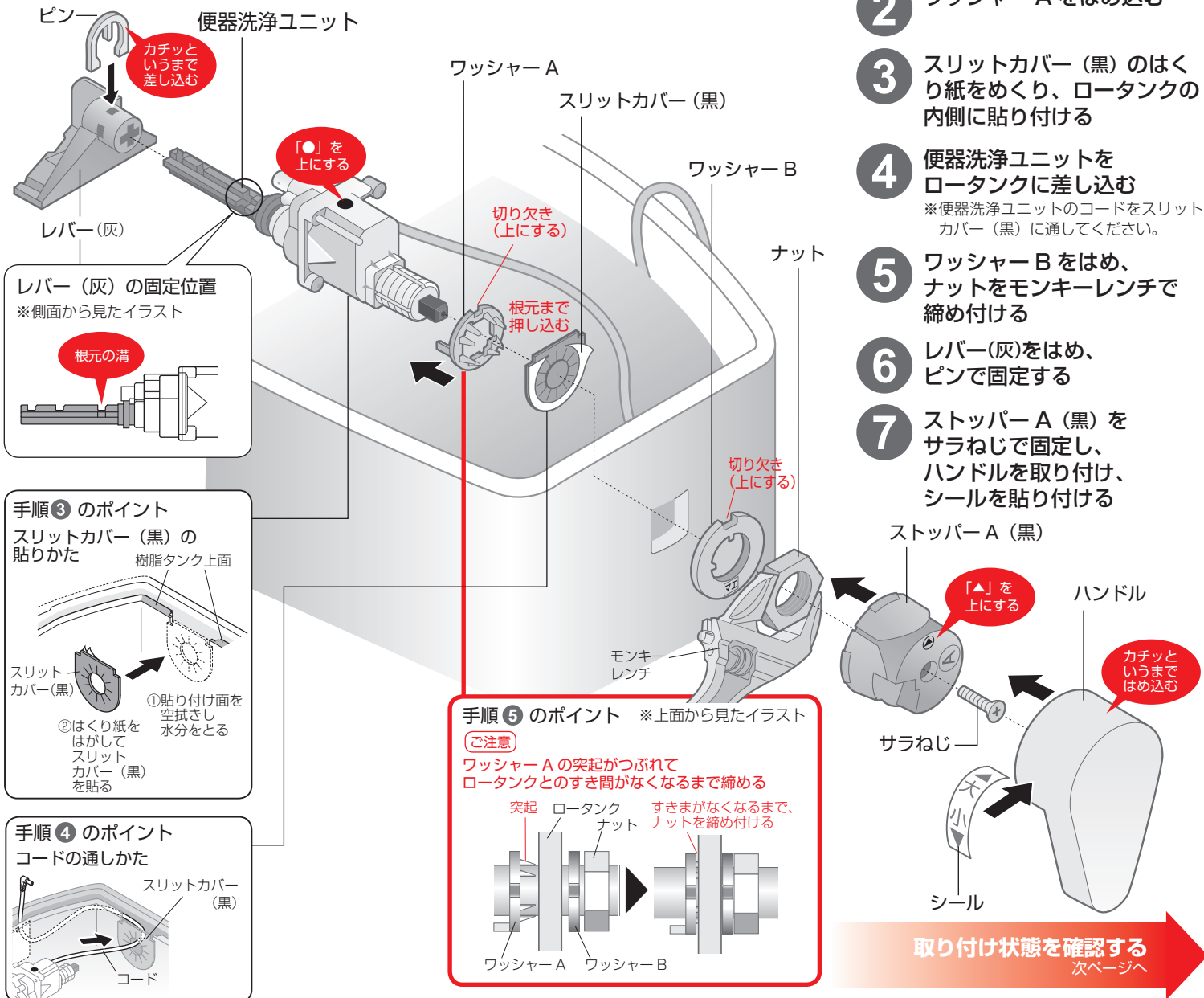


赤色袋



緑色袋

使用しません

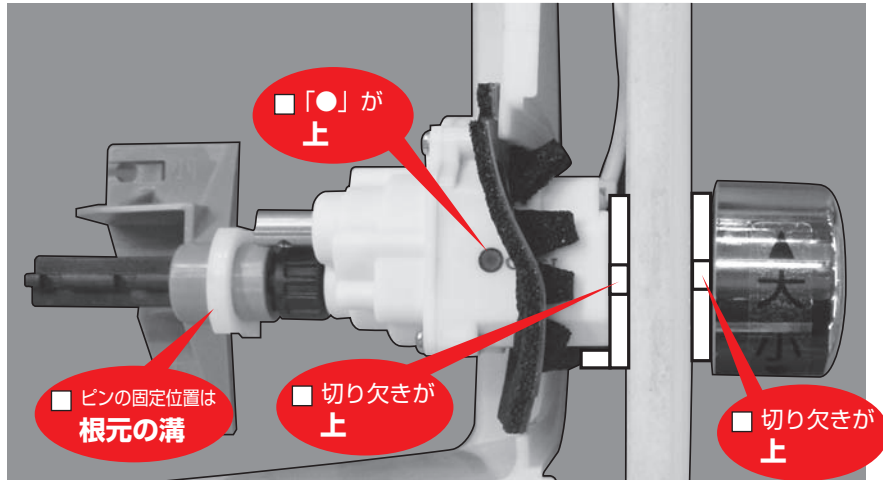


- 2 ワッシャー A をはめ込む
- 3 スリットカバー (黒) のはくり紙をめくり、ロータンクの内側に貼り付ける
- 4 便器洗浄ユニットをロータンクに差し込む
※便器洗浄ユニットのコードをスリットカバー (黒) に通してください。
- 5 ワッシャー B をはめ、ナットをモンキーレンチで締め付ける
- 6 レバー (灰) をはめ、ピンで固定する
- 7 ストッパー A (黒) をサラねじで固定し、ハンドルを取り付け、シールを貼り付ける

取り付け状態を確認する
次ページへ

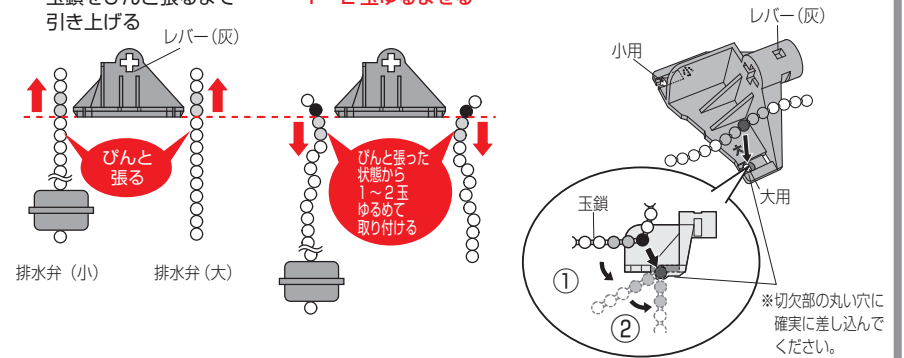
8 便器洗浄ユニットの取り付け状態を確認する

・下記チェック項目を確認し、□にチェックを行ってください。



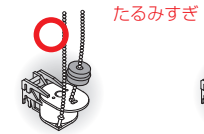
9 玉鎖を取り付ける

- ① 排水弁が上からならない程度に玉鎖をびんと張るまで引き上げる
- ② びんと張った状態から1~2玉ゆるませる
- ③ 玉鎖を挿入する

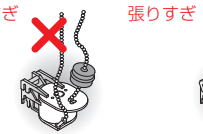


ご注意

玉鎖を取り付けた際に、下記に注意してください。

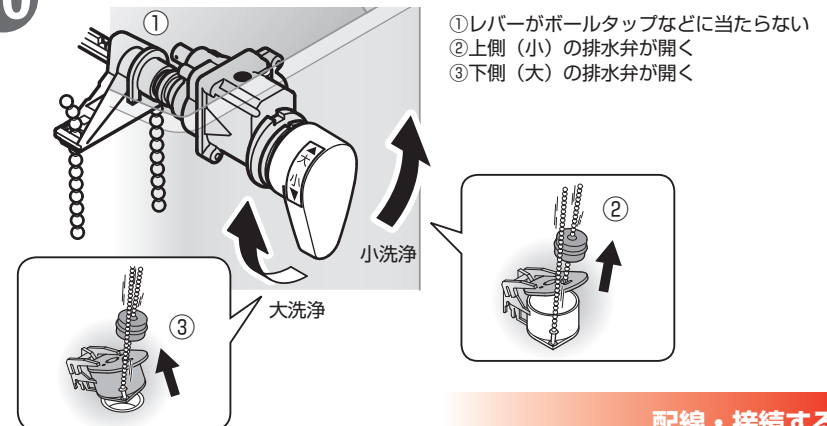


ハンドルを回しても弁が開かず洗浄しない



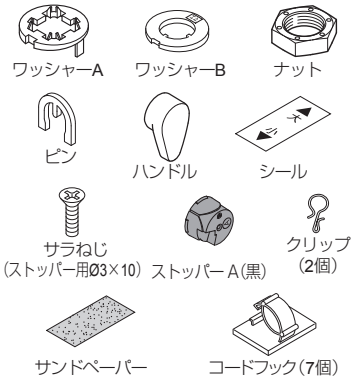
弁が開いていて止水しない

10 ハンドルを動かして確認する



1 部品を選択する

使用部品



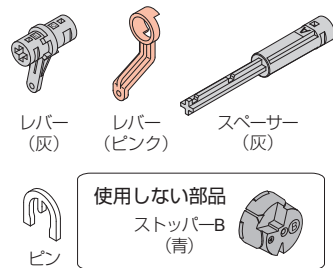
使用しない部品



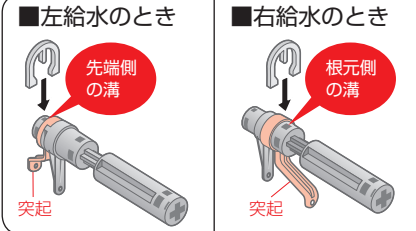
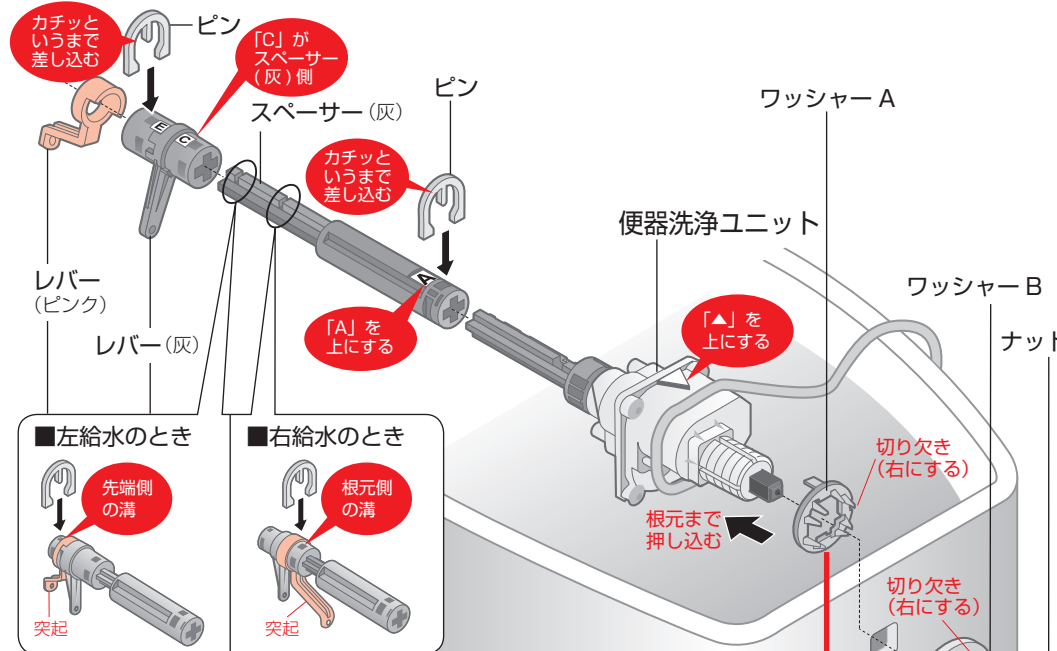
リモコン用シール
リモコンによって、どちらかのシールが同梱されています。

赤色袋

使用しません



緑色袋

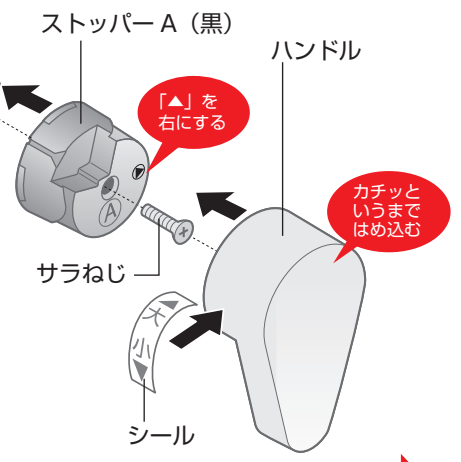


ご注意
・給水によってレバー (ピンク) の位置とピン の 固定位置が異なります。

- 2 スペーサー (灰) の [A] を 上 に して 挿入 し、ピン で 固定 する
- 3 レバー (灰) と レバー (ピンク) を はめ、ピン で 固定 する
- 4 ワッシャー A を はめ 込 む
- 5 便器 洗浄 ユニッ ト を ロー タンク に 差 し 込 む
- 6 ワッシャー B を はめ、ナット を モンキー レンチ で 締め 付 ける
- 7 ストッパー A (黒) を サラ ね じ で 固 定 し、ハ ン ド ル を 取 り 付 け、シ ール を 貼 り 付 け る

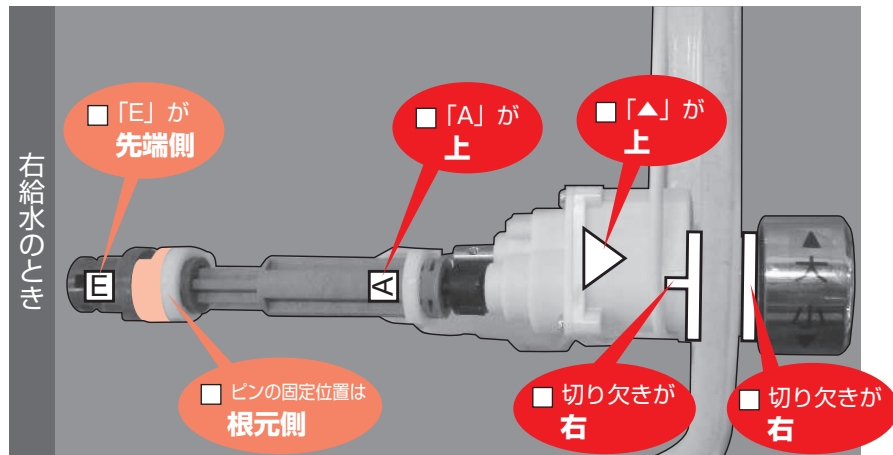
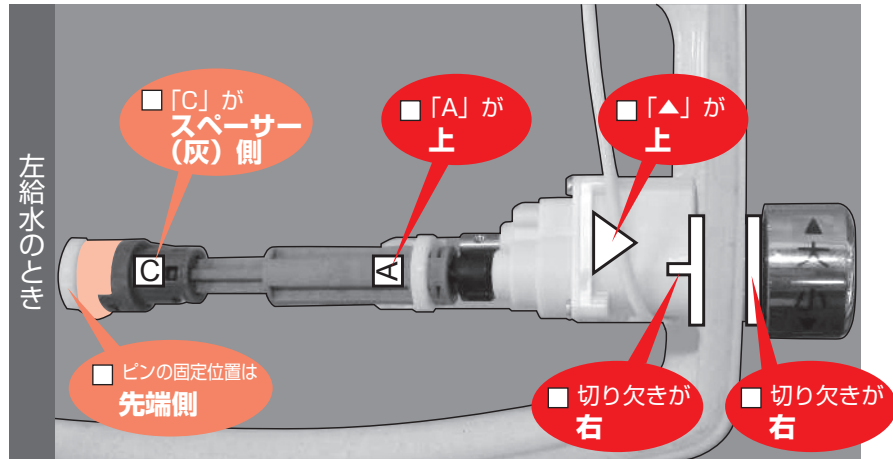
手順 6 のポイント
※ 上面から見たイラスト

ご注意
ワッシャー A の突起が づぶれて ロータンク と の すき 間 が な く なる ま で 締 め る



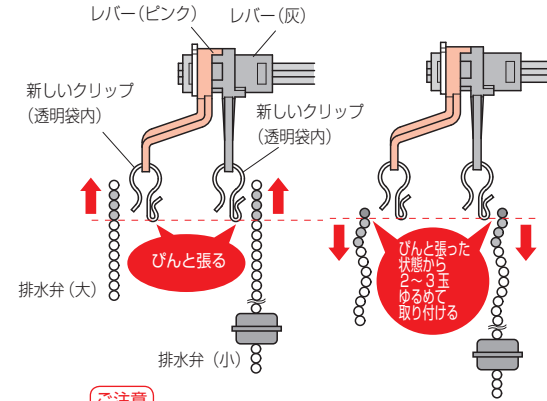
8 便器洗浄ユニットの取り付け状態を確認する

・下記チェック項目を確認し、□にチェックを行ってください。



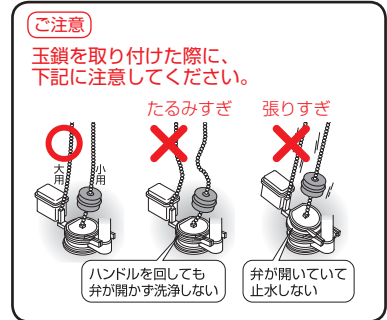
9 玉鎖を取り付ける

- ① 排水弁が上がらない程度に玉鎖をびんと張るまで引き上げる
- ② びんと張った状態から2〜3玉ゆるめて取り付ける



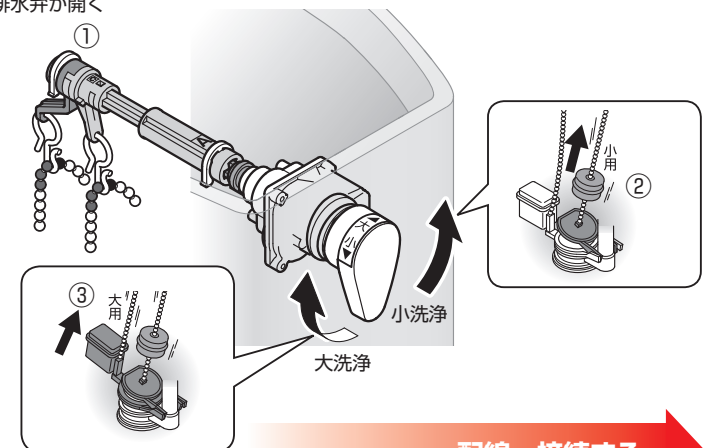
【ご注意】

右給水するときも、レバーと排水弁の組み合わせは同じです。(排水弁(大)がレバー(ピンク)側)



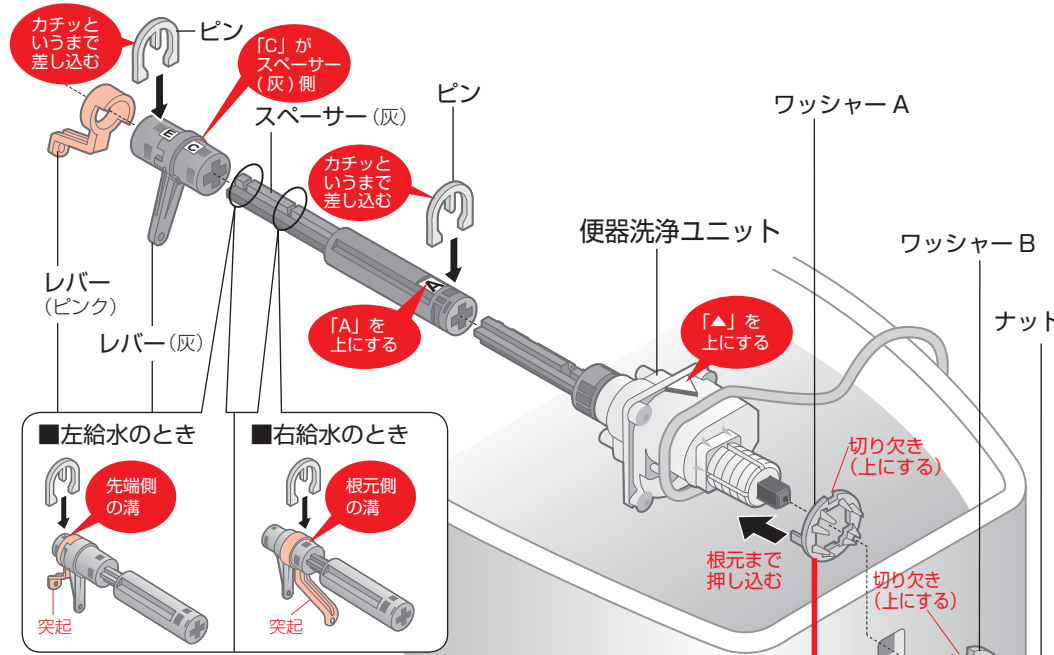
10 ハンドルを動かして確認する

- ① レバーがボールタップなどに当たらない
- ② 上側(小)の排水弁が開く
- ③ 下側(大)の排水弁が開く



1 部品を選択する

使用部品	
ワッシャーA	ワッシャーB
ナット	ピン
ハンドル	シール
サラねじ (ストッパー用φ3×10)	クリップ (2個)
サンドペーパー	コードフック (7個)
<p>使用しない部品</p> <p>流す大 FLUSH リモコン用シール リモコンによって、どちらかのシールが同梱されています。</p>	
赤色袋 使用しません	
レバー (灰)	レバー (ピンク)
スペーサー (灰)	ピン
<p>使用しない部品</p> <p>ストッパーB (青)</p>	



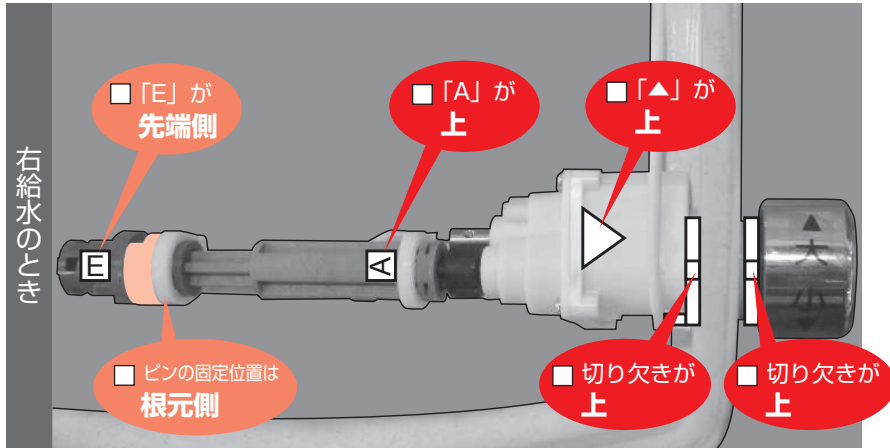
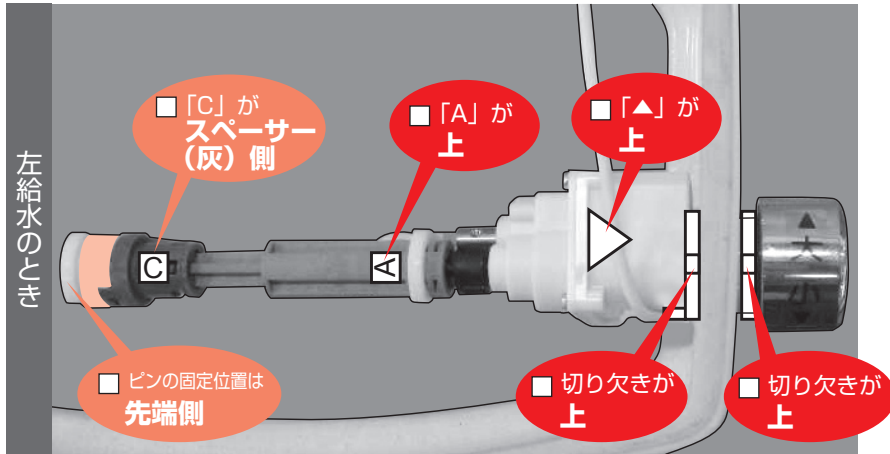
【ご注意】
・給水によってレバー (ピンク) の位置とピンの
固定位置が異なります。



- 2 スペーサー (灰)の[A]を上にして挿入し、ピンで固定する
- 3 レバー (灰)とレバー (ピンク)をはめ、ピンで固定する
- 4 ワッシャー A をはめ込む
- 5 便器洗浄ユニットをロータンクに差し込む
- 6 ワッシャー B をはめ、ナットをモンキーレンチで締め付ける
- 7 ストッパー A (黒)をサラねじで固定し、ハンドルを取り付け、シールを貼り付ける

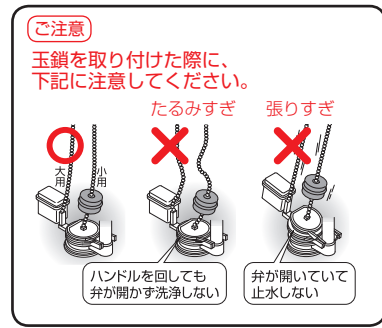
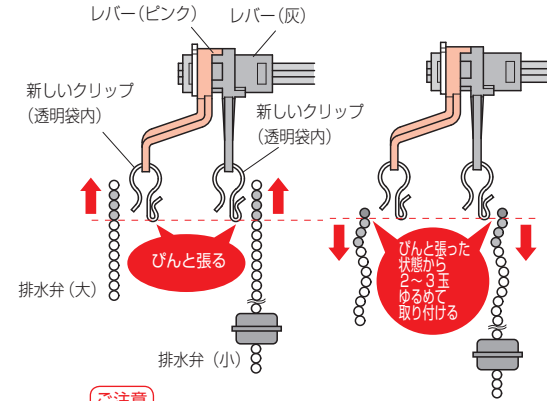
8 便器洗浄ユニットの取り付け状態を確認する

・下記チェック項目を確認し、□にチェックを行ってください。



9 玉鎖を取り付ける

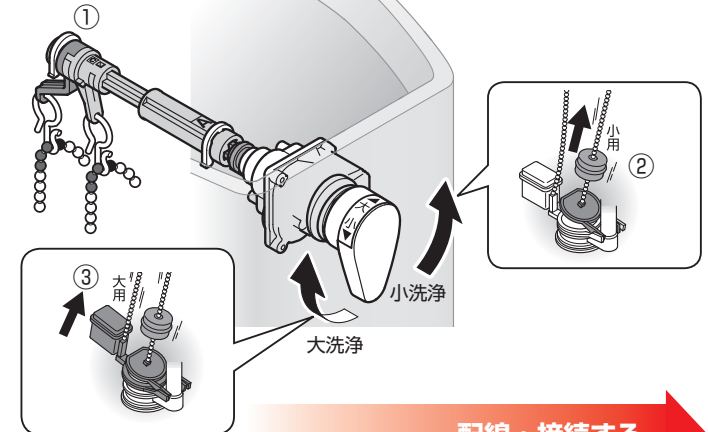
- ① 排水弁が上がらない程度に玉鎖をびんと張るまで引き上げる
- ② びんと張った状態から2～3玉ゆるめて取り付ける




ご注意
右給水の時きも、レバーと排水弁の組み合わせは同じです。(排水弁(大)がレバー(ピンク)側)

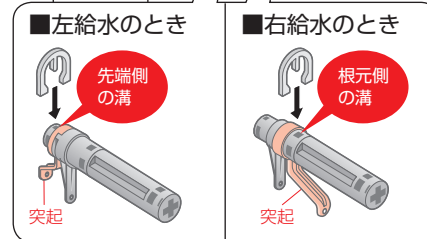
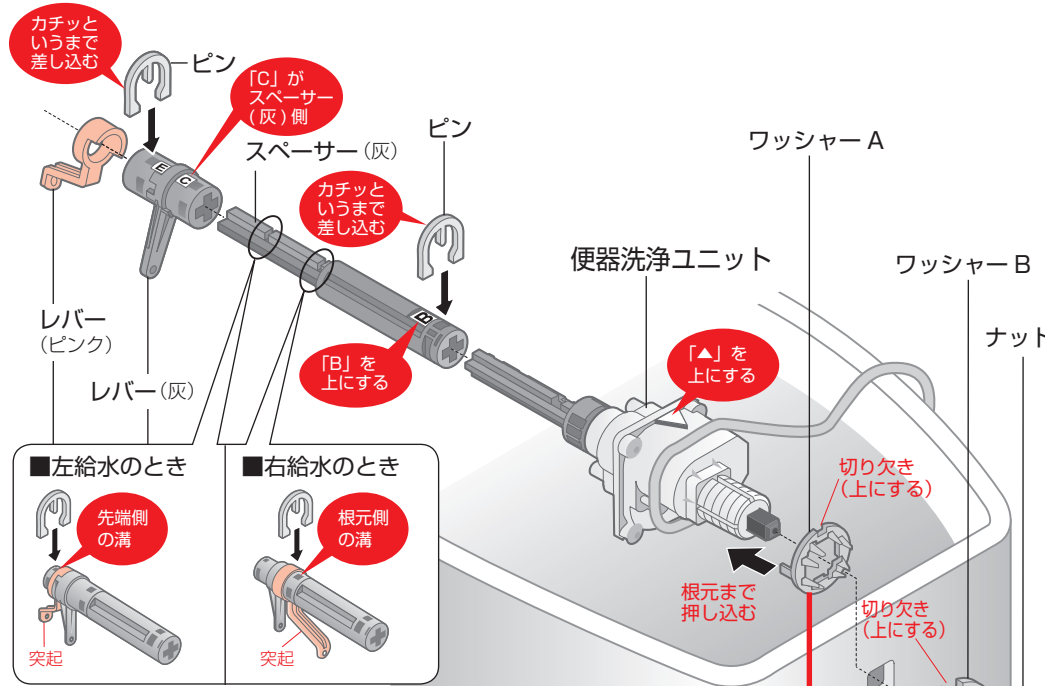
10 ハンドルを動かして確認する

- ① レバーがボールタップなどに当たらない
- ② 上側(小)の排水弁が開く
- ③ 下側(大)の排水弁が開く

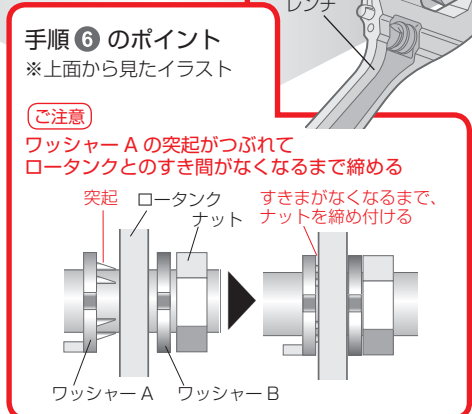


1 部品を選択する

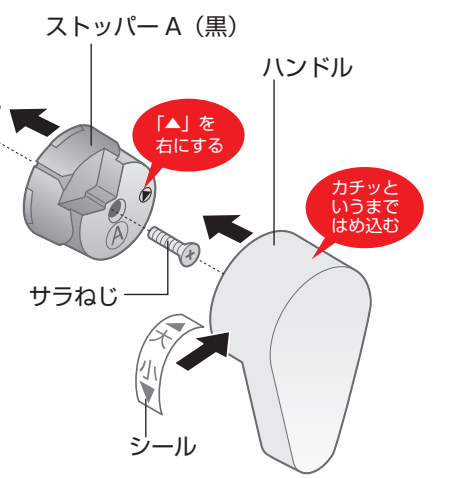
透明袋	
使用部品	
ワッシャーA	ワッシャーB
ピン	ハンドル
ナット	シール
サラねじ (ストッパー用φ3×10)	クリップ (2個)
サンドペーパー	コードフック (7個)
使用しない部品  流す大 リモコン用シール リモコンによって、どちらかのシールが同梱されています。	
赤色袋	
使用しません	
緑色袋	
レバー (灰)	レバー (ピンク)
レバー (灰)	スペーサー (灰)
ピン	使用しない部品 ストッパーB (青)



ご注意
 ・給水によってレバー (ピンク) の位置とピンの固定位置が異なります。

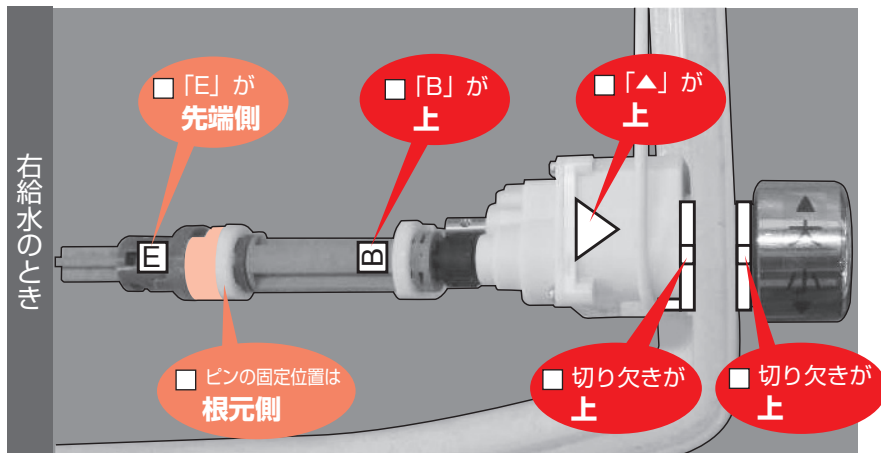
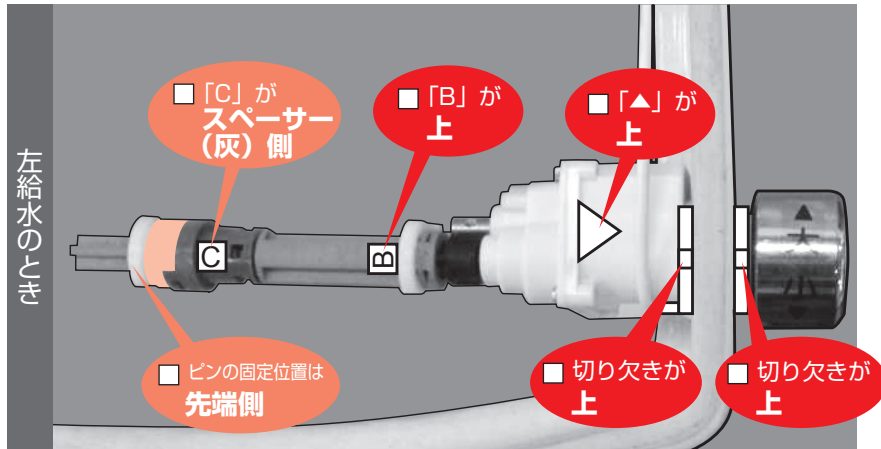


- 2 スペーサー (灰) の B を上にして挿入し、ピンで固定する
- 3 レバー (灰) とレバー (ピンク) をはめ、ピンで固定する
- 4 ワッシャー A をはめ込む
- 5 便器洗浄ユニットをロータンクに差し込む
- 6 ワッシャー B をはめ、ナットをモンキーレンチで締め付ける
- 7 ストッパー A (黒) をサラねじで固定し、ハンドルを取り付け、シールを貼り付ける



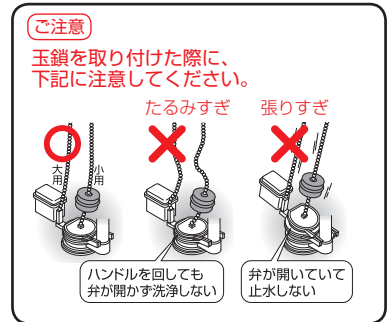
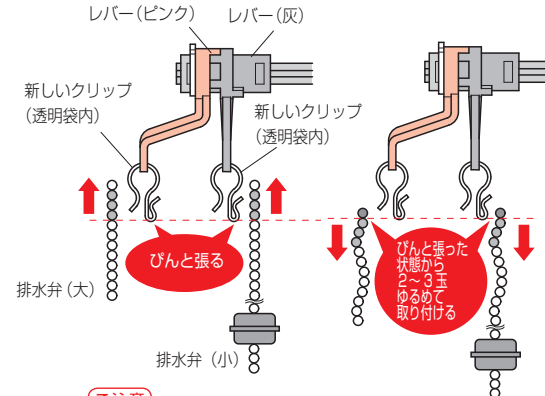
8 便器洗浄ユニットの取り付け状態を確認する

・下記チェック項目を確認し、□にチェックを行ってください。



9 玉鎖を取り付ける

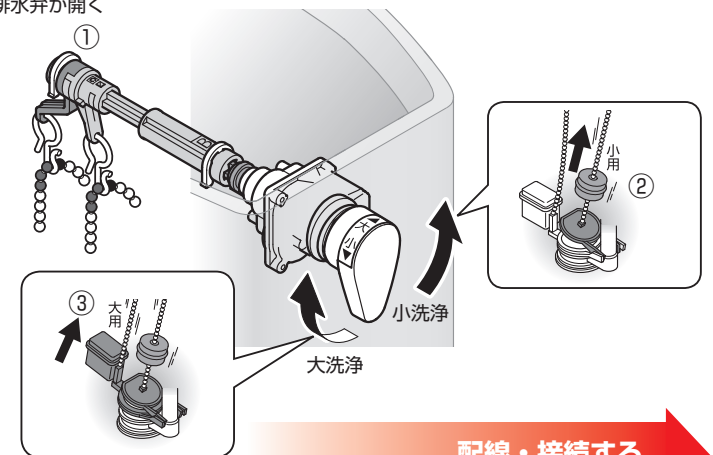
- ① 排水弁が上がらない程度に玉鎖をびんと張るまで引き上げる
- ② びんと張った状態から2〜3玉ゆるめて取り付ける



【ご注意】
右給水の時きも、レバーと排水弁の組み合わせは同じです。(排水弁(大)がレバー(ピンク)側)

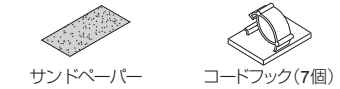
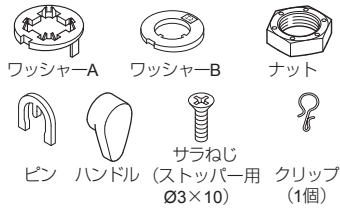
10 ハンドルを動かして確認する

- ① レバーがボールタップなどに当たらない
- ② 上側(小)の排水弁が開く
- ③ 下側(大)の排水弁が開く



1 部品を選択する

使用部品



リモコン用シール
リモコンによって、どちらかのシールが同梱されています。

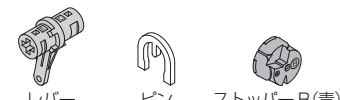
使用しない部品



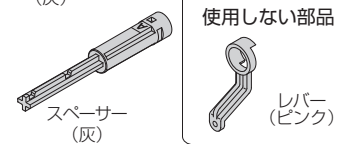
透明袋

赤色袋

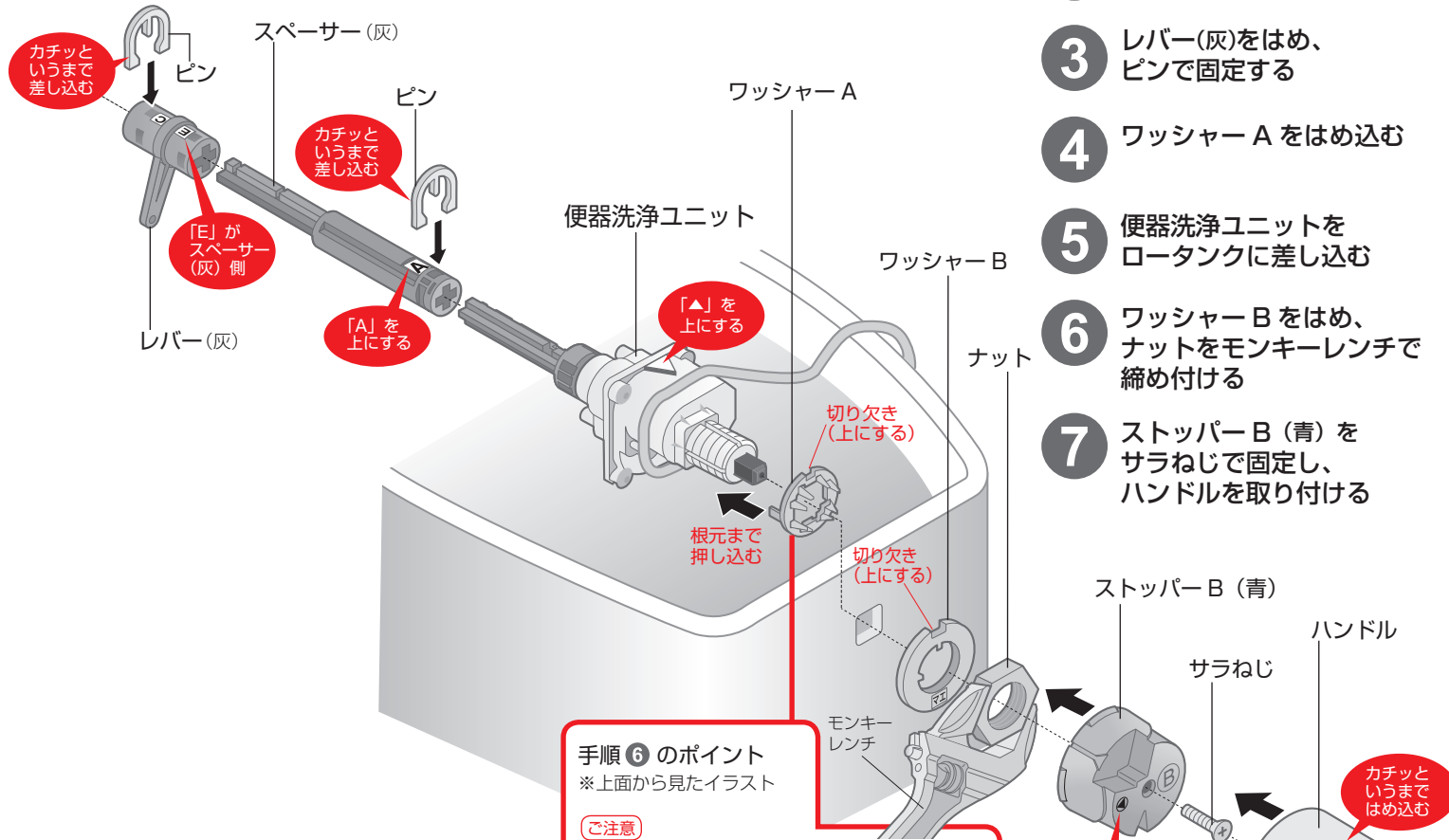
使用しません



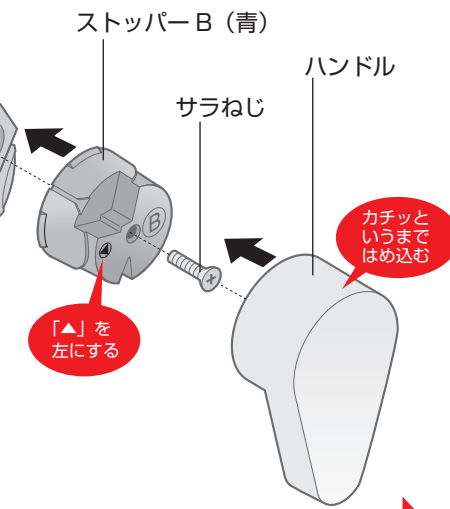
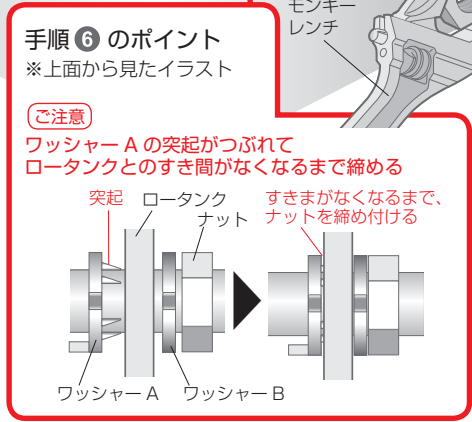
使用しない部品



緑色袋



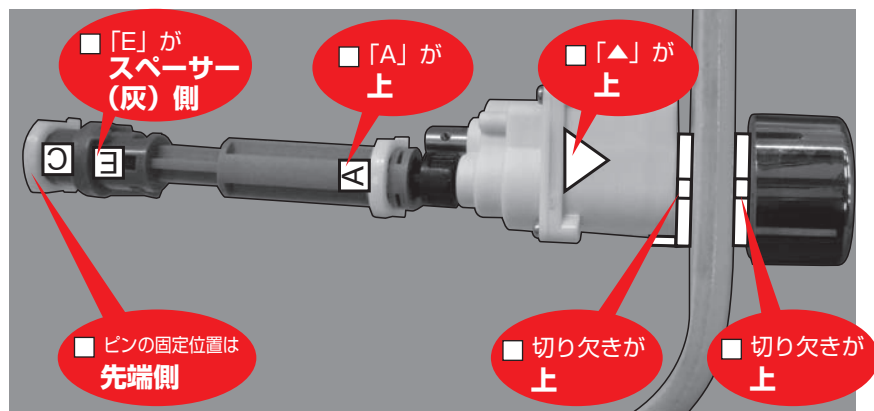
- 2** スペース(灰)の[A]を上にして挿入し、ピンで固定する
- 3** レバー(灰)をはめ、ピンで固定する
- 4** ワッシャー A をはめ込む
- 5** 便器洗浄ユニットをロータンクに差し込む
- 6** ワッシャー B をはめ、ナットをモンキーレンチで締め付ける
- 7** ストッパー B (青) をサラねじで固定し、ハンドルを取り付ける



取り付け状態を確認する
次ページへ

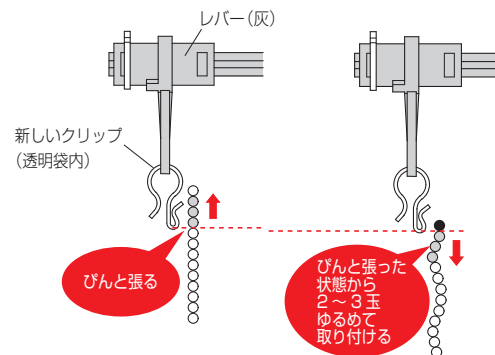
8 便器洗浄ユニットの取り付け状態を確認する

・下記チェック項目を確認し、□にチェックを行ってください。



9 玉鎖を取り付ける

- ① 排水弁が上がらない程度に玉鎖をびんと張るまで引き上げる
- ② びんと張った状態より2~3玉ゆるめて取り付ける

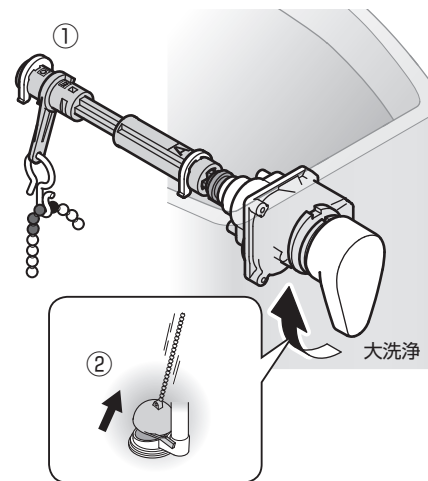


ご注意
玉鎖を取り付けた際に、下記に注意してください。

○	×	×
たるみすぎ	たるみすぎ	張りすぎ
ハンドルを回しても弁が開かず洗浄しない		弁が開いていて止水しない

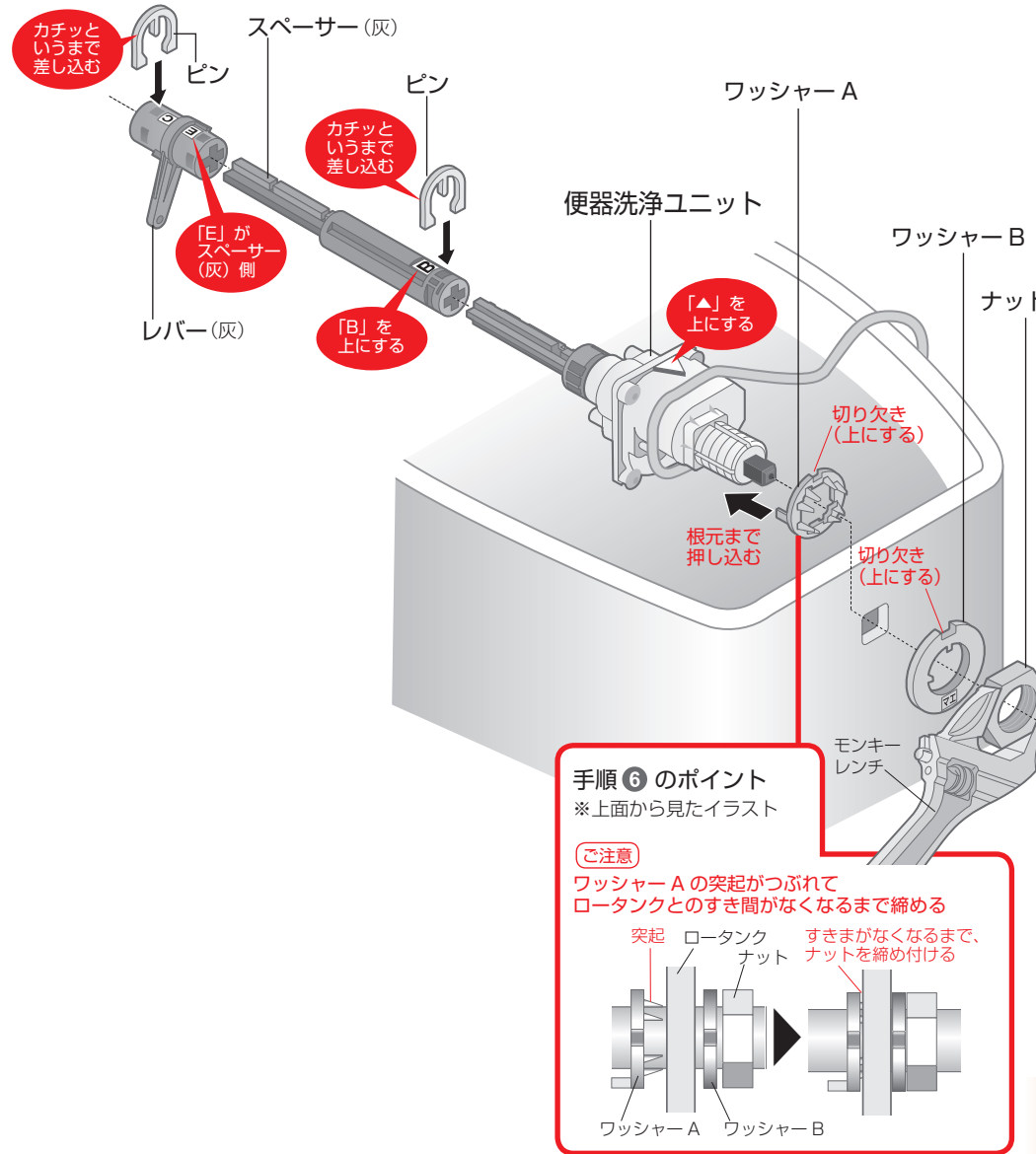
10 ハンドルを動かして確認する

- ① レバーがボールタップなどに当たらない
- ② 排水弁が開く



1 部品を選択する

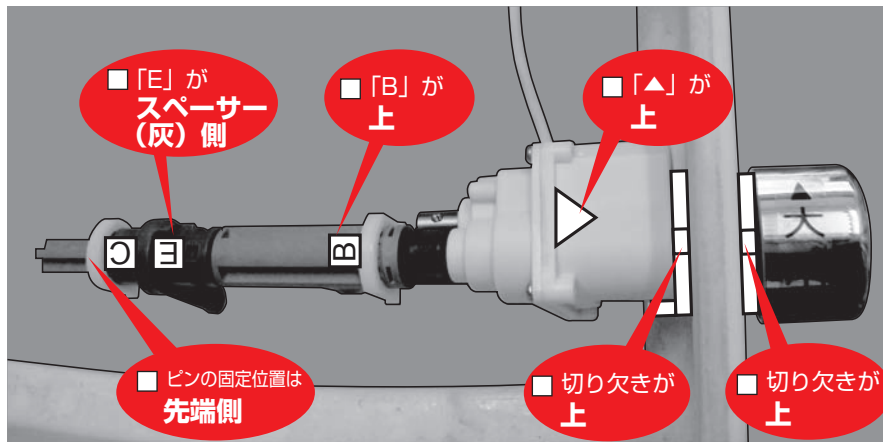
使用部品	
ワッシャーA	ワッシャーB
ナット	サラねじ
ピン	ハンドル (ストッパー用φ3×10)
クリップ (1個)	サンドペーパー
コードフック (7個)	シール
ストッパーA(黒)	ストッパーA(黒)
使用しない部品	
クリップ (1個)	リモコン用シール
流す大 (FLUSH)	リモコンによって、どちらかのシールが同梱されています。
使用しません	
レバー (灰)	ピン
スペーサー (灰)	
使用しない部品	
レバー (ピンク)	ストッパーB(青)



- 2 スペーサー (灰) の [B] を上に
して挿入し、ピンで固定する
- 3 レバー (灰) をはめ、
ピンで固定する
- 4 ワッシャー A をはめ込む
- 5 便器洗浄ユニットを
ロータンクに差し込む
- 6 ワッシャー B をはめ、
ナットをモンキーレンチで
締め付ける
- 7 ストッパー A (黒) を
サラねじで固定し、
ハンドルを取り付け、
シールを貼り付ける

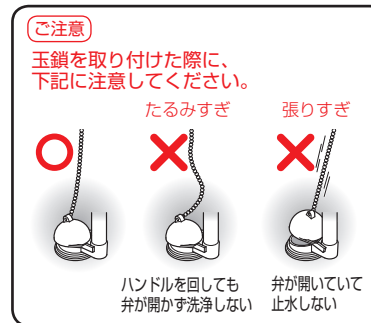
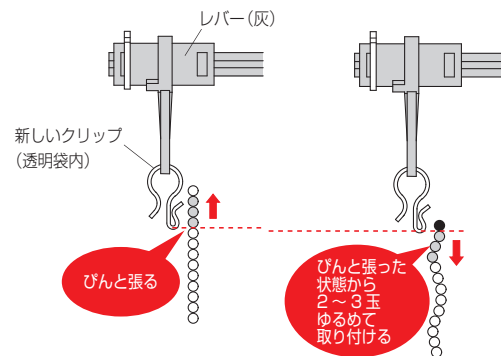
8 便器洗浄ユニットの取り付け状態を確認する

・下記チェック項目を確認し、□にチェックを行ってください。



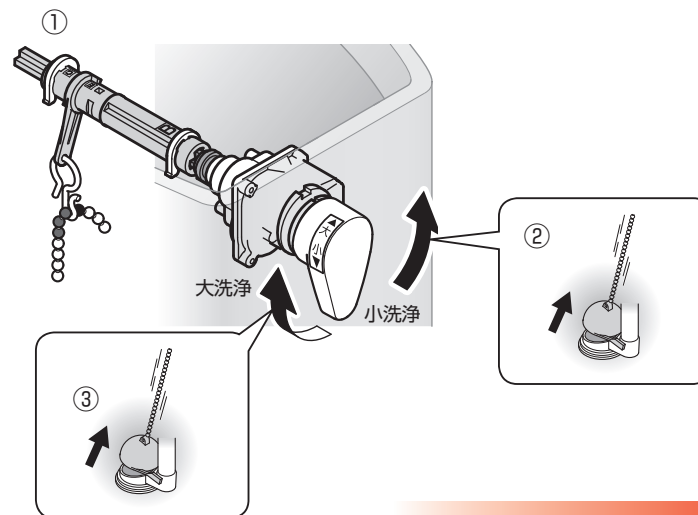
9 玉鎖を取り付ける

- ① 排水弁が上がらない程度に玉鎖をびんと張るまで引き上げる
- ② びんと張った状態から2〜3玉ゆるめて取り付ける



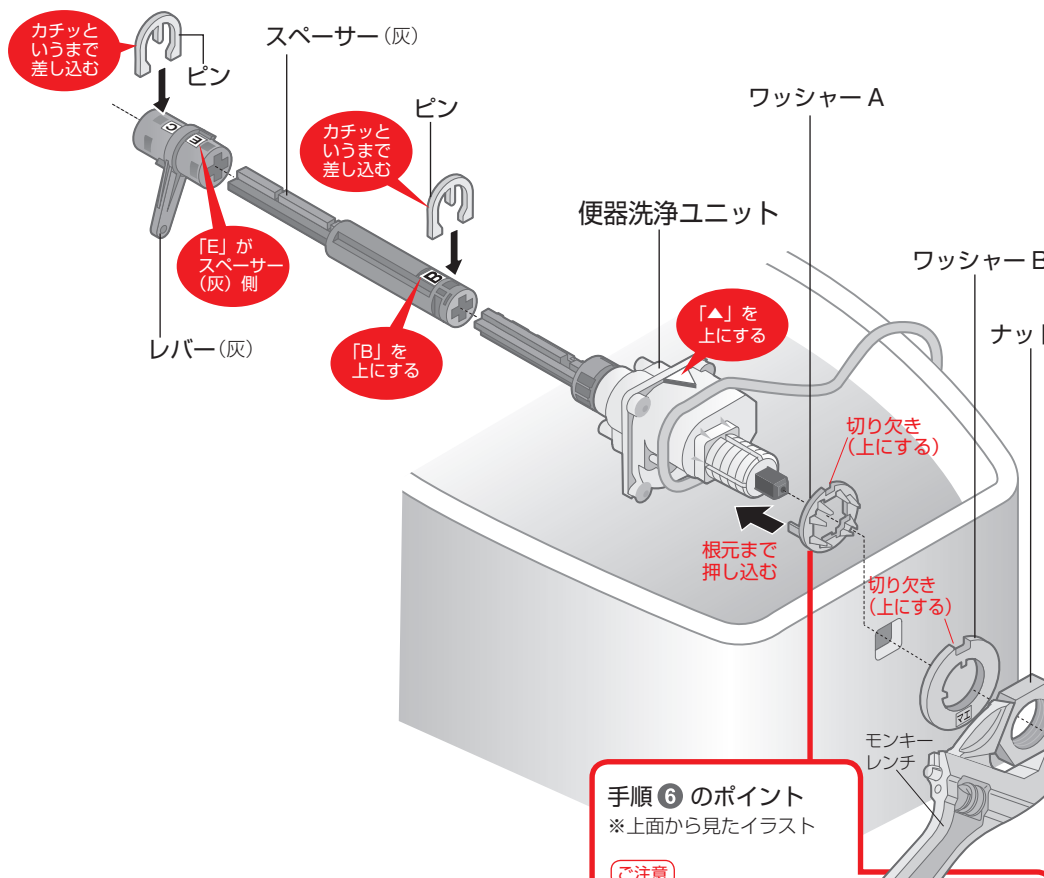
10 ハンドルを動かして確認する

- ① レバーがボールタップなどに当たらない
- ② 排水弁が開く
- ③ 排水弁が開く



1 部品を選択する

使用部品	
<p>ワッシャーA ワッシャーB ナット ピン ハンドル (ストッパー用Ø3×10) クリップ (1個) サンドペーパー コードフック(7個) 流す大 FLUSH リモコン用シール リモコンによって、どちらかのシールが同梱されています。</p>	<p>使用しない部品</p> <p>シール ストッパーA(黒) クリップ(1個)</p>
赤色袋	
使用しません	
緑色袋	
<p>レバー (灰) ピン ストッパーB(青) スペーサー (灰)</p>	<p>使用しない部品</p> <p>レバー (ピンク)</p>



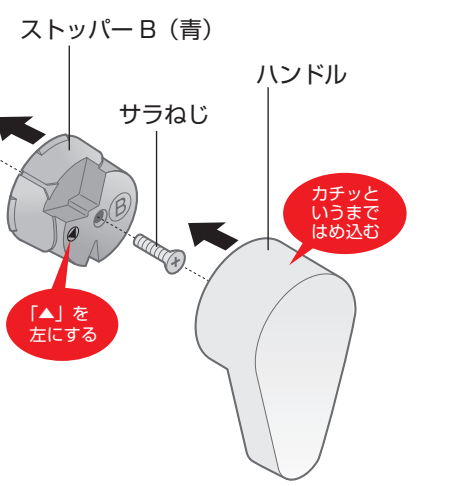
- 2** スペーサー(灰)の回を上にして挿入し、ピンで固定する
- 3** レバー(灰)をはめ、ピンで固定する
- 4** ワッシャーAをはめ込む
- 5** 便器洗浄ユニットをロータンクに差し込む
- 6** ワッシャーBをはめ、ナットをモンキーレンチで締め付ける
- 7** ストッパーB(青)をサラねじで固定し、ハンドルを取り付ける

手順6のポイント
※上面から見たイラスト

【注意】
ワッシャーAの突起がつぶれてロータンクとのすき間がなくなるまで締める

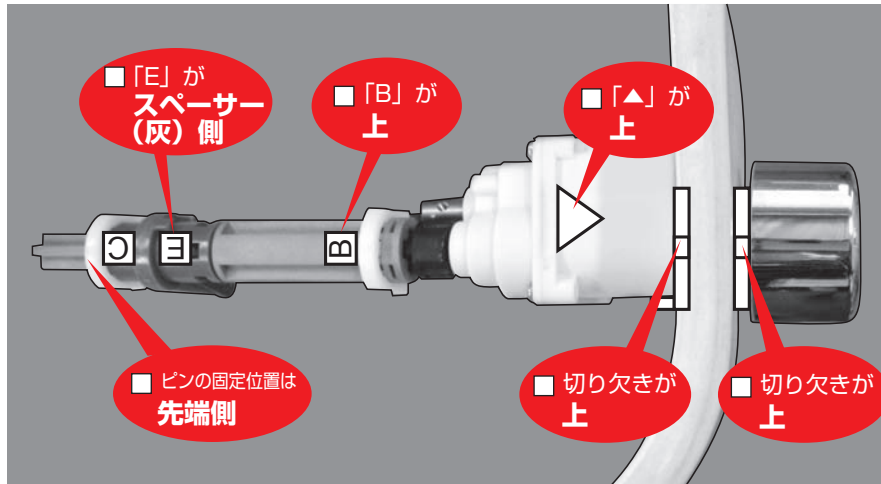
突起 ロータンク ナット
すきまがなくなるまで、ナットを締め付ける

ワッシャーA ワッシャーB



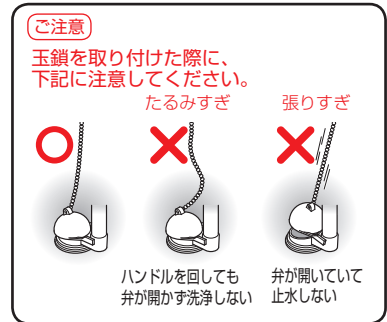
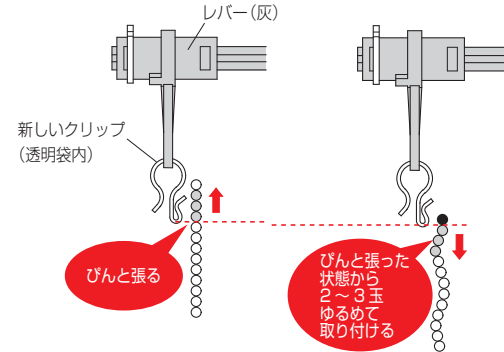
8 便器洗浄ユニットの取り付け状態を確認する

・下記チェック項目を確認し、□にチェックを行ってください。



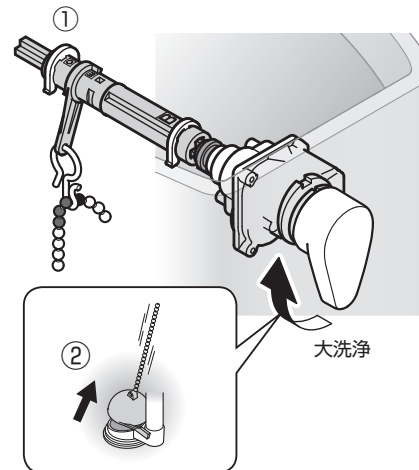
9 玉鎖を取り付ける

- ① 排水弁が上がらない程度に玉鎖をびんと張るまで引き上げる
- ② びんと張った状態から2〜3玉ゆるめて取り付ける



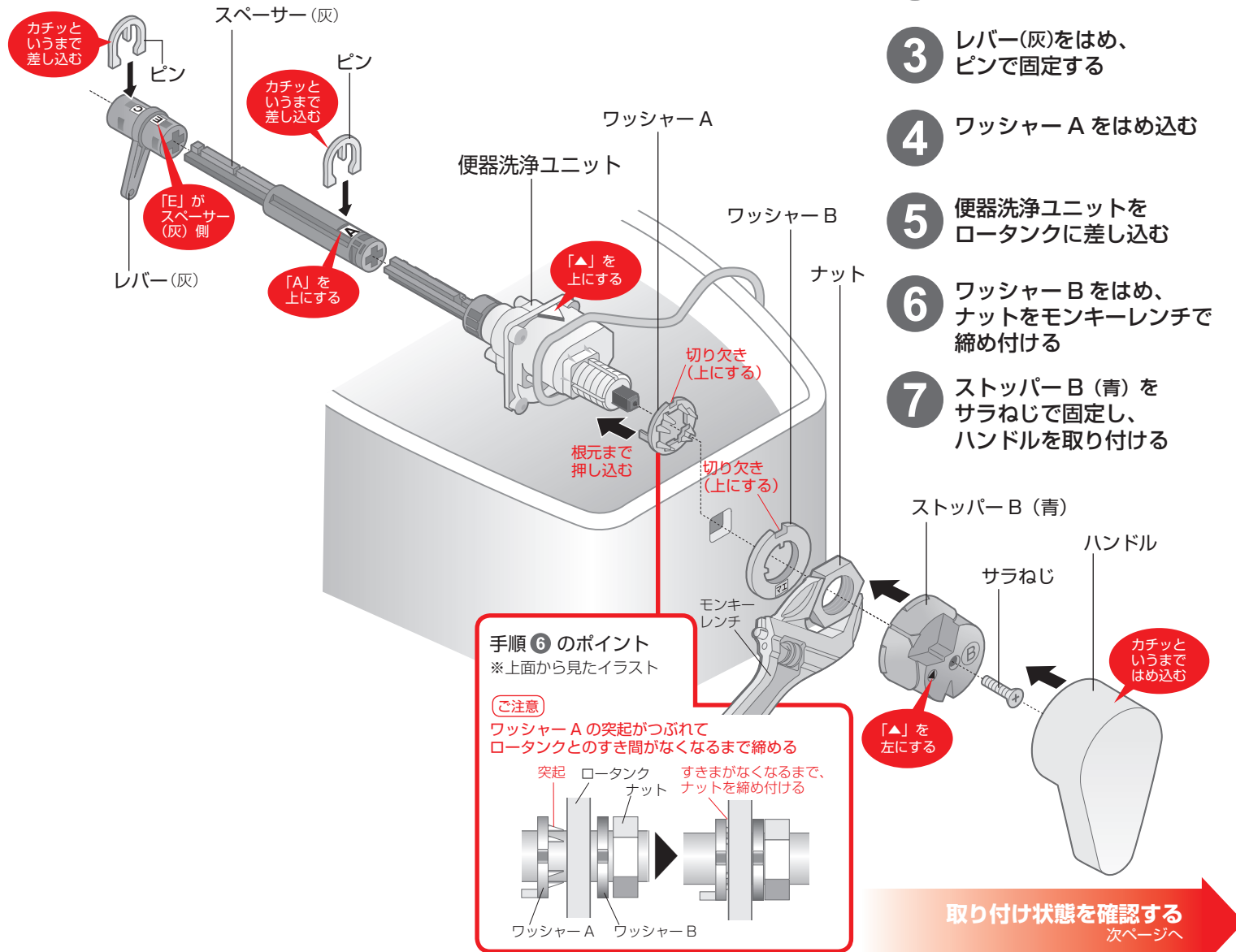
10 ハンドルを動かして確認する

- ① レバーがボールタップなどに当たらない
- ② 排水弁が開く



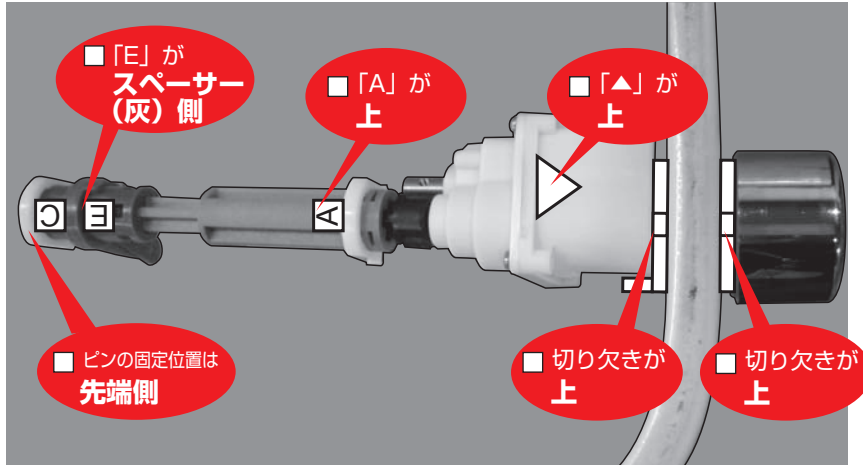
1 部品を選択する

使用部品	
透明袋	ワッシャーA ワッシャーB ナット ピン ハンドル サラねじ (ストッパー用φ3×10) サンドペーパー コードフック (7個) 流す大 FLUSH リモコン用シール リモコンによって、どちらかのシールが同梱されています。 使用しない部品 シール ストッパーA(黒) クリップ(1個)
赤色袋	使用しません
緑色袋	レバー(灰) ピン ストッパーB(青) 使用しない部品 スペーサー(灰) レバー(ピンク)
既設部品	スリーブ 止め輪 クリップ



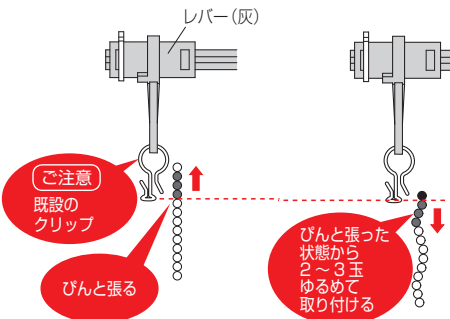
8 便器洗浄ユニットの取り付け状態を確認する

・下記チェック項目を確認し、□にチェックを行ってください。



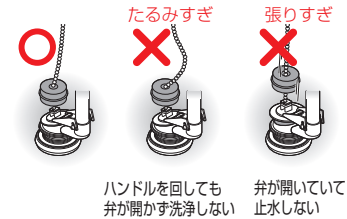
9 玉鎖を取り付ける

- ①排水弁が上がらない程度に玉鎖をびんと張るまで引き上げる
- ②びんと張った状態から2~3玉ゆるめて取り付ける



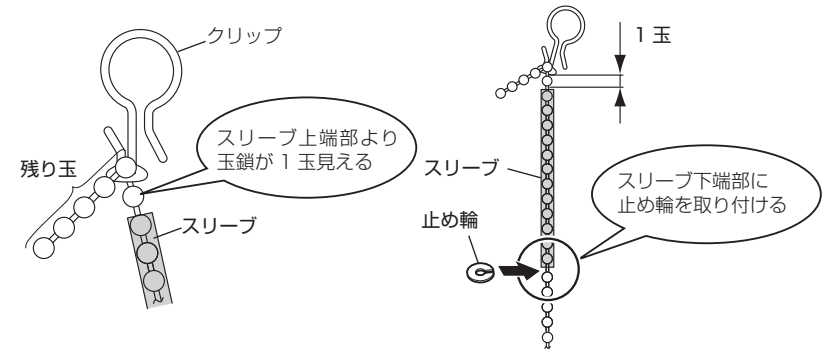
ご注意

玉鎖を取り付けた際に、下記に注意してください。



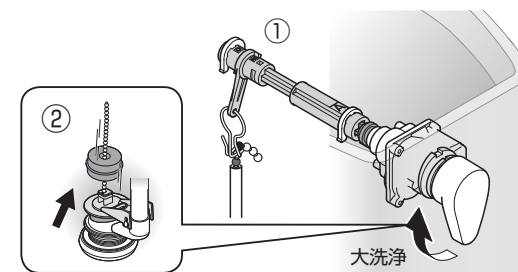
10 スリーブと止め輪を取り付ける (スリーブと止め輪が既設されている場合のみ)

- ①クリップからの残り玉数を数える
- ②クリップから玉鎖を外した後、玉鎖にスリーブを挿入し、①で確認した残り玉数の位置にクリップを取り付ける
- ③スリーブ上端部より玉鎖が1玉見えるようにスリーブ位置を調整する
- ④スリーブ下端部に止め輪を取り付ける



11 ハンドルを動かして確認する

- ①レバーがボールタップなどに当たらない
- ②排水弁が開く

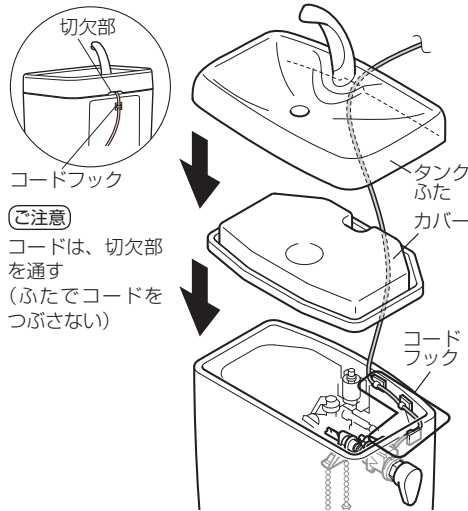


施工手順 4 ウォシュレットと便器洗浄ユニットを配線・接続する

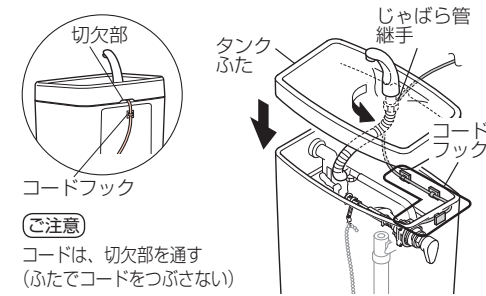
コードを配線する

施工タイプ **B・C**

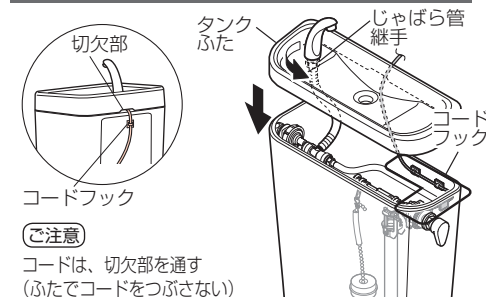
- 1 コードフックの貼り付け位置を決める (水がかからない位置にする)
- 2 ①で決めた貼り付け位置の表面をサンドペーパーでこする (こすった後の粉をとる)
- 3 コードフックを貼り付ける
- 4 コードを配線する
- 5 じゃばら管継手を手洗金具にねじ込む (D・E・F・G・H・I・Jタイプで手洗付のときのみ)
- 6 カバー、タンクふたを取り付ける



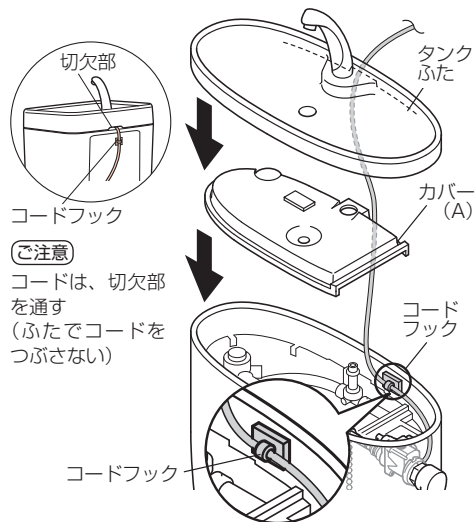
施工タイプ **D・E・F・G・H・I**



施工タイプ **J**



施工タイプ **A**



プラグを接続する

- 7 ウォシュレット本体を施工する (ウォシュレット本体の施工説明書参照)

重要

手順 8 以降は、ウォシュレット本体施工後に行ってください。

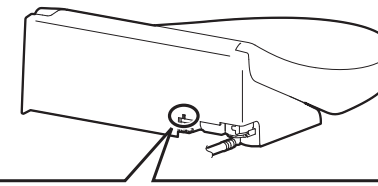
- 8 便器洗浄リモコンを取り付ける (便器洗浄リモコン取付説明書参照)

重要

ウォシュレットとの「組み合わせ設定」が必要な便器洗浄リモコンの場合は、必ず設定してください。(設定しないとリモコンで便器洗浄できません。)

- 9 プラグ (便器洗浄ユニット) を接続する
コードは、ウォシュレットの着脱ができる余裕を設けてください。(機種によって、製品の形状が異なります。)

プラグ接続口を確認してください。
(機種によって、接続方法が異なります。)



ウォシュレット本体の背面の凸形状を確認

凸形状がある場合

凸形状がない場合

P.50へ

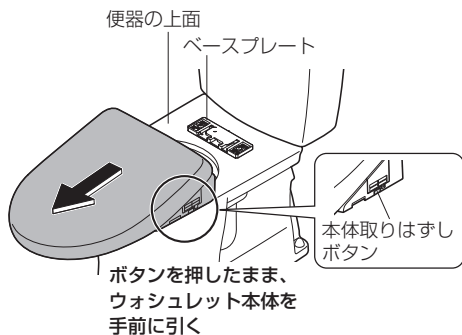
P.51へ

配線・接続する

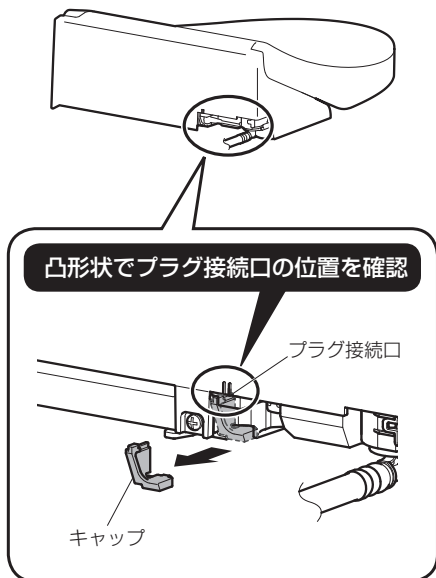
プラグを接続する

ウォシュレット本体の背面に凸形状がある場合

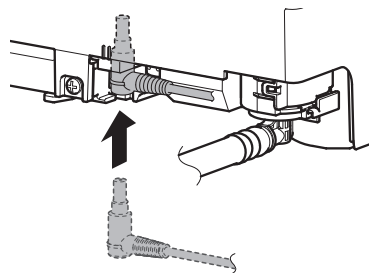
- ① ⊖ドライバーなどでボタンを押したまま
ウォシュレット本体を手前に引く



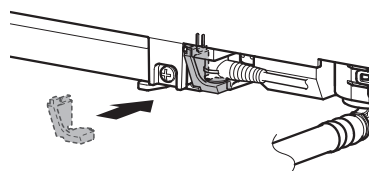
- ② ウォシュレット本体の背面にある
キャップを取りはずす



- ③ プラグを根元まで確実に差し込む



- ④ キャップを取り付ける



- ⑤ ウォシュレット本体を取り付ける

※手前に引っ張って製品がはずれないことを確認してください。

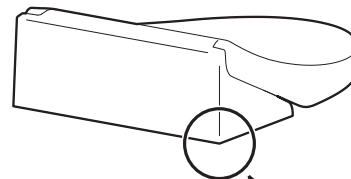
- 10** ウォシュレットの電源プラグを
コンセントに差し込む

必ず便器洗浄モードを設定してください
リモコンによって、設定方法が異なります。

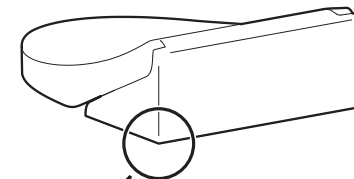


ウォシュレット本体の背面に凸形状がない場合

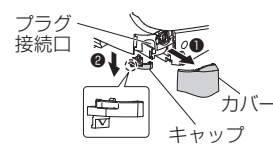
左右どちらかのプラグ接続口にプラグを取り付けてください。



プラグ
接続口を
確認



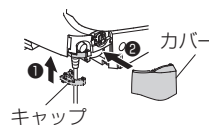
- ① キャップを取りはずす



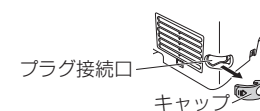
- ② プラグを根元まで確実に差し込む



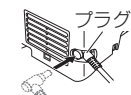
- ③ キャップとカバーを取り付ける



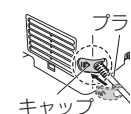
- ① キャップを取りはずす



- ② プラグを横向きに根元まで確実に
差し込む

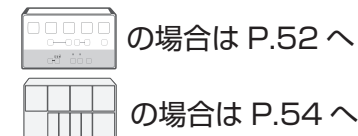


- ③ キャップを取り付ける



- 10** ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む

必ず便器洗浄モードを設定してください
リモコンによって、設定方法が異なります。



施工手順 5 便器洗浄モードを設定する

の場合

ご注意
モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れた後に行ってください。
(ウォシュレット本体の電源が入っていないと設定を受け付けません。)

1 ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む
→ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する

設定が不要な
施工タイプ
A・B・C
D・E・F

施工タイプ
A・B・C
D・E・F

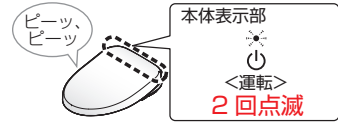
試運転をする
P.56 へ

設定が必要な
施工タイプ
G・I・J・H

2 止 と ビデ 10秒以上押す
→リモコンのランプが全点滅します。

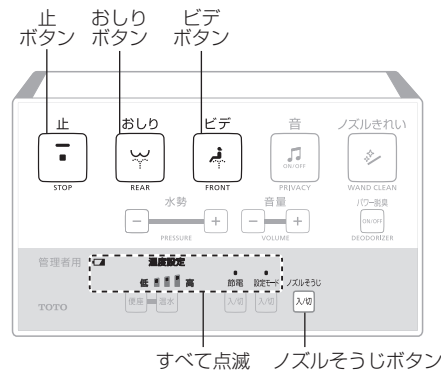
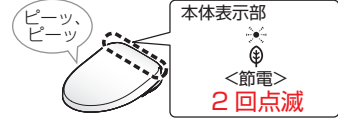
施工タイプ
G・I・J

3 おしり 5秒以上押す



施工タイプ
H

3 ビデ 5秒以上押す

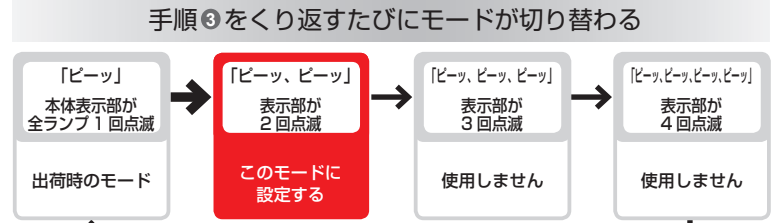


機種によっては、本体表示部やボタンのレイアウトなどが異なります。

施工タイプ
G・I・J・H

4 ノズルきれい 5秒以上押す → (電子音が2回鳴ると同時に本体表示部ランプが2回点滅) することを確認する
(本体表示部ランプ: G・I・Jは「運転」、Hは「節電」)
電子音とランプの点滅が上記でなかった場合は、設定が正しくできていません。
手順③に戻り、設定しなおしてください。

設定位置を確認する



5 止 押す → <設定完了>

お知らせ
施工タイプ
G・I・J

便器洗浄は「大洗浄」のみになります。
必要に応じて、同梱のシール「流す大」を便器洗浄リモコンに貼り付けてください。
文字の上にシールを貼ってください。
(リモコン用シールは透明袋に同梱しています。)



試運転をする P.56 へ

施工手順 5 便器洗浄モードを設定する

の場合

ご注意
 モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れた後に行ってください。
 (ウォシュレット本体の電源が入っていないと設定を受け付けません。)

1 ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む
 →ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する

設定が不要な
 施工タイプ
A・B・C
D・E・F

施工タイプ
A・B・C
D・E・F

試運転をする
 P.56へ

設定が必要な
 施工タイプ
G・I・J・H

2 ビデ FRONT 5回押す
 →「ピッ」という電子音が鳴り、
 <設定モード>※に入ります。
 <設定モード>中は、20秒以内に
 次のボタンを押してください。

施工タイプ
G・I・J

3 おしり REAR → ビデ FRONT → おしり REAR の順に押す
 ビーツ、ビーツ
 本体表示部
 <運転>
 2回点滅

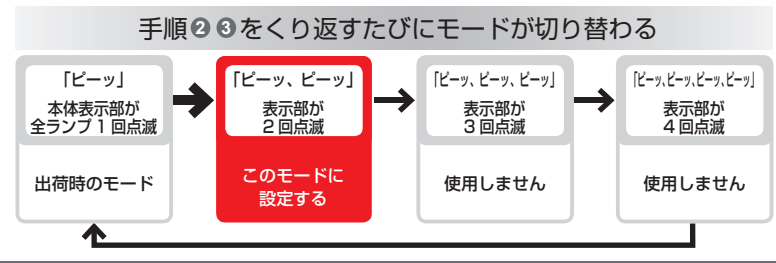
施工タイプ
H

3 おしり REAR → ビデ FRONT → 水勢 PRESURE の順に押す
 ビーツ、ビーツ
 本体表示部
 <節電>
 2回点滅



施工タイプ
G・I・J・H
設定位置を確認する

4 ビデ FRONT 5回押す → 「ピッ」という電子音が鳴ります。
5 水勢 PRESURE → ビデ FRONT → おしり REAR の順に押す →
 (電子音が2回鳴ると同時に本体表示部ランプが2回点滅することを確認する (本体表示部ランプ: **G・I・J** は「運転」、**H** は「節電」))
 電子音とランプの点滅が上記でなかった場合は、設定が正しくできていません。
 手順②③に戻り、設定しなおしてください。



設定完了できなかった場合は、手順②からやり直してください。
 設定を途中でやめるときは、「止」ボタンを押してください。
 ※電子音が鳴らなかった場合は、リモコンとウォシュレット本体の組みあわせ
 設定がされていない可能性があります。ウォシュレット本体の施工説明書を見
 見て、組みあわせ設定を行ってください。

機種によっては、本体表示部やボタンのレイアウトなどが異なります。

お知らせ
 施工タイプ
G・I・J

便器洗浄は「大洗浄」のみになります。
 必要に応じて、同梱のシール [流す大] を便器洗浄リモコンに貼り付けてください。
 文字の上にシールを貼ってください。
 (リモコン用シールは透明袋に同梱しています。)



試運転をする P.56へ

施工手順 6 試運転をする

施工全タイプ共通

ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込んだ後、次の項目を確認し、□にチェックを行ってください。



チェック **1** ロータンクの止水栓を開ける

チェック **2** 手動で便器洗浄を確認する

ハンドルを「大側」・「小側」に回して、便器洗浄を行うことを確認する
※施工タイプによっては「大」洗浄しかありません。

チェック **3** リモコンで便器洗浄を確認する

「大」・「小」のボタンを押して、便器洗浄を行うことを確認する
※連続して押すと作動しません。約 10 秒たってからもう一度ボタンを押してください。

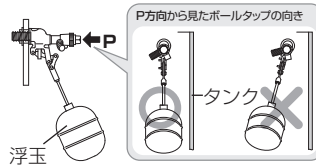
[大] → ハンドルが大側に回転する

[小] → A・B・C・D・E・F のときハンドルが小側に回転する
G・I・J のときハンドルが大側に回転する
H のときハンドルが小側に回転し、4 秒間停止後戻る

便器洗浄が正しく行われないときは「うまく動かないとき」(P.58) をご覧ください。

チェック **4** ボールタップの作動を確認する

ロータンクのふたを開き、ハンドルを操作して、レバーがボールタップの浮玉などに当たらないかを確認する（作動不良や止水不良の原因）
浮玉は、真下に下りるように正しく取り付けてください。



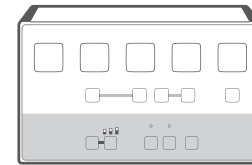
試運転が終わりましたら、ウォシュレット本体の施工説明書に従って試運転を行ってください。

設備保護洗浄

24 時間以上便器洗浄されなかったときに、配管を保護するため自動で便器洗浄します。
お客様にご確認の上、不要な場合は「しない」に設定してください。

設備保護洗浄する / しない

はじめの設定「する」



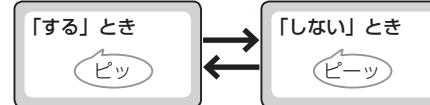
の場合

1 止 約 10 秒以上押す
→ リモコンのランプが全点滅します。

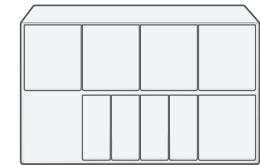
2 ノズルそうじ 設定モード 入/切 と 入/切 を同時に押す

押すたびに切り替わる

設備保護洗浄を



3 止 押す <設定完了>



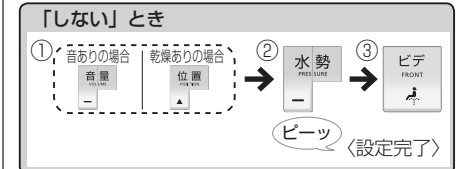
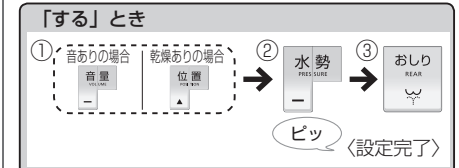
の場合

ボタンは「カチッ」と音がするまで押してください。

1 止 5 回押す
→ 「ビッ」という電子音が鳴り、<設定モード>に入ります。
<設定モード>中は、20 秒以内に次のボタンを押してください。

2 設定したい項目を選び、①②③の順に押す

設備保護洗浄を





設定完了できなかった場合は、もう一度手順①からやり直してください。
設定を途中でやめるときは、「止」ボタンを押してください。

うまく動かないとき

MEMO

洗浄が正しく行われないときは、まずこのページの処置方法を試してください。それでも直らないときは、もう一度「施工の流れ」(P.2)を最初から確認してください。

こんなときは		ご確認ください	処置方法
作動しない	モーター音がしない	 の場合 ●便器洗浄リモコンとウォシュレットとの組み合わせ設定を行っていますか？ ●便器洗浄ユニットのプラグが、ウォシュレットの接続口に根元まで確実に差し込まれていますか？ ●ウォシュレット本体の電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	便器洗浄リモコンとウォシュレットとの組み合わせ設定を行う →便器洗浄リモコン取付説明書をご確認ください。
		 の場合 ●リモコンに電池は入っていますか？	リモコンに電池を正しく入れる
流れない	モーター音はする	●玉鎖がはずれていませんか？	玉鎖をレバーに正しく取り付ける
		●玉鎖がゆるみすぎていませんか？	玉鎖をレバーに正しく取り付ける
		●モード設定がまちがっていませんか？	モードを正しく設定しなおす
		●まちがったストッパーを取り付けていませんか？	正しいストッパーを取り付ける
水の流れが悪い	●玉鎖がゆるみすぎていませんか？	玉鎖をレバーに正しく取り付ける	
水が止まらない	●玉鎖が張りすぎていませんか？	玉鎖をレバーに正しく取り付ける	
	●レバーが何か当たっていませんか？	レバー、ワッシャーを正しく取り付ける	
「大」「小」の動作が逆	●「大」「小」の玉鎖を逆に取り付けていませんか？	玉鎖をレバーに正しく取り付ける	
	●モード設定がまちがっていませんか？	モードを正しく設定しなおす	
大洗浄しかしない	●大のみのタンクではありませんか？	タンクの洗浄方式を確認する	
	●玉鎖がはずれていませんか？	玉鎖をレバーに正しく取り付ける	
	●玉鎖がゆるみすぎていませんか？	玉鎖をレバーに正しく取り付ける	
	●モード設定がまちがっていませんか？	モードを正しく設定しなおす	
小洗浄しかしない	●玉鎖がはずれていませんか？	玉鎖をレバーに正しく取り付ける	
	●モード設定がまちがっていませんか？	モードを正しく設定しなおす	
動作音が継続する	●S 730の場合、小洗浄時に動作音が継続します。異常ではありません。		